京城日報

十五日夕刊

定價 紙代 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾錢(郵送料共)三ヶ月金壹圓八拾錢 六ヶ月金三圓五拾錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 …
發行兼編輯人 …　印刷人 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 …

○彈劾は兵器賣却問題か
質問書の提出＝演說會の開催

政友會は彼の減債基金還元問題が政府と貴族院との妥協により解決せられたる以來內閣彈劾方法に腐心しつゝありしが外交を彈劾材料となすは目下の外交狀態に鑑み國家の爲め不利益なるのみならず黨略としても亦後日に言質を遺すこと〻なるべきを慮り外交彈劾は暫らく之れを猶豫し先づ內政問題中殊に多大の注目を惹きたる兵器賣却問題を以て世間の人氣を煽ると(に)決し十五日横田千之助、古谷久綱諸氏の名義にて該問題に關する質問書を提出せり右質問に對する政府の答辯の如何により彈劾決議案を提出すべく又一方にては十五日引續き市內各所に於て演說會を開き院外團は十五日午前十時本部に大會を開き宣言書を發表する筈なり(東京特電)

○十五日の兩院

十五日貴族院に於ては製鐵所擴張に關する豫算本會議を開き衆議院に於ては基金改正案を上程し政府黨は之を即決し去らんとする見込にて議會の進行を計り在野黨の論爭頗る旺んなり(東京特電)

○關税改正案提出

政府は十五日衆議院に關税定率法中改正法律案を提出したるが其の內容は歐洲戰亂の結果輸入杜絕し價格騰貴したる染料品原料藥品鐵機械類中にて內地工業所の合に關するものに對し無稅若くば關稅の引下を行ひ其の價格低廉を期するにあり(東京特電)

○日支滿洲銀行案可決

日支滿洲兩銀行案は衆議院委員會に於て滿洲一覽拂手形發行の條件附にて可決せり(東京特電)

○支那の彈丸急製決議

十二日軍事會議を開き全國兵器支廠に彈丸を急速製造せしむることを決議したり(北京特電)

○ガリシヤ方面の激戰

露都陸軍公報に曰く、ガリシア方面に於て猛烈なる戰鬪繼續しつゝあり敵は死力を盡して戰ひ多大の死傷を出し辛うじてツオプロフ地方の一高地を回復したるも勇敢なる我が老兵の一聯隊は逆襲して之れを退けたり敵捕虜の語る所によれば露軍の砲兵の威力は恐るべきものありて該高地に對し三回の逆襲をなしたるも悉く擊退されたり高加索地方に於ける露軍の攻勢は依然繼續せり(倫敦電報)

○羅馬尼の事態漸く重大

ソフイヤよりの報道によれば羅馬尼に於る事態漸く重大ならんとしつゝあり羅馬尼は其の軍隊五分の四に對し動員令を下し主として墺勃國境に向つて集中しつゝあり又黑海沿岸の守備に任じつゝありし砲兵も西方に異動せらるゝに至れり其結果として同盟國側は羅馬尼の取るべき態度に對し明確に回答を促がさゞるを得ざるべしと(倫敦電報)

○日獨戰行賞期

日獨戰に於ける神尾加藤兩中將以下約一萬人に對する論功行賞不日發表せらるべし(東京電報)

○外務官更迭說

外務次官幣原喜重郎氏は某國公使に任命せらるゝ事に內定せり其結果省內に多少の更迭行はるべしとの說あり(東京電報)

○松原新之助氏逝く

前水產講習所長從四位勳四等松原新之助氏は肺炎に罹り自宅にて療養中の處十四日朝遂に逝去せり享年六十四歲(東京特電)

○穀類輸出禁止

安東縣在吉田領事は東邊道道尹兼交涉員より北河、興京兩縣に於る米、大麥、小麥、麥粉、高粱、玉蜀黍、粟の出境を二十日以降新穀出廻期まで禁示したき旨照會に接したるを以て之に承諾を與へたる旨其筋に報告ありたり

○日支滿連輸下打合

今春開催すべき日支連絡運輸會議の日滿連絡運輸會議の日本側提出案に就きて打合せの爲め鐵道院に於て各[illegible]すべく鐵道局に對し主任出京方[illegible]中の[illegible]作成り安藤參事[illegible]合、竹內兩書記を随へ十五日午前八時四十二分龍山發東上せり

○慰問使の動靜

[illegible]慰問の爲め派遣されたる侍從武官[illegible]少將は十五日大邱師團司令部[illegible]に於て[illegible]直ちに[illegible]鎮海[illegible]に向ふ[illegible]司令部よりは高[illegible]中佐隨行したり

○軍司令官巡閱

駐劄軍司令官井口陸軍中將は安藝中佐、千輪野津兩大尉、長野一等主計長谷川一等軍醫を隨へ公州、尚州、釜山、慶州、利川の各部隊巡閱の爲め十七日午前八時四十二分龍山發急行にて出發二十七日歸任の豫定なり

○學務主任會同(第二日)

各道學務主任會同第二日は前日に引續き十五日午前九時半より總督府第二會議室に開催、宇佐美長官、關屋學務局長以下出席者前日の如く宇佐美長官統裁の下に豫定の注意事項に入り日程を議了し午後三時散會せり

○定例長官會議

十五日は定例長官會議日なるより寺內總督以下各部長官局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集、通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

○府及組合豫算打合

京城府にては十五日午前十時より府尹室に於て府及び學校組合大正五年度豫算案に就き打合せを爲したるが大要…

春川

▲市街の整理 江原道春川郡にては昨秋御大典記念事業として春川邑內街路の整理を斷行することに決し郡當局者は鋭意之が進捗に努力しつゝありしが郡民は勿論各官公署及び邑內鮮人皆多大の好意を以て援助し道路敷の無償寄附の如き既に八[illegible]通り承諾濟にして郡廳員の如きも自ら[illegible]を寄附せりと云ふ面して整理費用として既に集りたる寄附金一千四五百圓あるも尚ほ幾分不足を免かれざるを以て道廳の補助を仰ぐ事とし特別賦金又は寄附金を爲し不足分を補はんとしつゝありと云ふ、整理に就ては[illegible]すこと云ふ、本町通りより着手し二箇年間に一期線を完成する計畫なる由因みに[illegible]

▲春川郡治の發展 春川郡は[illegible]を改め[illegible]を來すは勿論なり[illegible]ては道廳所在地郡として勤もすれば治蹟の作はざるは甚だ遺憾なりとし、これ[illegible]改良進展を企圖する爲め郡守以下廳員一致勸業教育其他面行政務につき改善指導を怠らざるため面[illegible]新の曙光を認しを以て一同益々奮勵面吏員を督し治蹟擧表に努めつゝありと云ふ

▲春川郡農會の創立 春川郡にては今般郡農會を組織するに決し去る十日道廳會議室を借り郡內大地主篤農家郡參事面長等約七十餘名其他郡當局者集合之が創立につき懇談熟議せしが滿場一致を以て至急之を組織するに決し立ろに設立認可申請書の記名調印を了したるを以て郡當局は遲くも十五日頃迄には一切の書類を進達し長官宛進達せんとてこれが準備に忙殺されつゝあり

▲高普女子部落成式 春川公立普通學校に於ては本月九日女子部教室落成式及び學藝會擧行李道長官始め多數來賓ありて非常の盛會を呈せり因に該教室は郡有志の寄附金二千餘圓と補助金一千五百圓を以て新築したるものなり

▲隊署長の好評 春川憲兵隊長直井龍人氏の謹直、春川警察署長野上代三郎氏の溫厚なるは共に春川官民の推重する所にして各官公署との折合非常に宜敷治績益々擧りつゝあるは春川郡民の幸福と謂ふべし

平壤

▲內地と平壤肉 最近平壤某牛肉店より東京へ試みに牛肉の輸送を爲せしが本年度の關稅を課せられ不引合となれりと氣の爲め長時日の輸送に腐敗の氣味ありし更に鎭南浦へ仕向けし(に)高率の關税を課せられ不引合となれり平壤牛肉の內地行きは關稅撤廢後にあらざれば不可能なるべしと

▲瑞氣山の植林 平壤府にては牡丹臺大公園の手入れを怠らざると共に市中に小公園遊步地等を設備するの計畫にて瑞氣山に成り居れるも財政の關係上假に著手を見離きが瑞氣山の植林は本年の府豫算に計上し其の造行を圖るべしと

▲大同江の採氷 暖氣の爲めに氣を腐らしめたるが最近寺洞鐵道所上手山影の淀みに一寸二三分の結氷を發見し筆うて之れを採取せしも之れを除いては一切の結氷を見ず採氷の不可能なる所は當業者は非常に少なく本年夏の氷價は騰貴するなるべし

▲柿の樹枯死 氣候風土の關係よりか平南道江西郡地方に毎年相當の產出ありたる柿は樹殆ど枯死し昨年末の調査によれば殆んど其の跡を絕つの有樣なりと

▲陞任及び赴任 管內巡視中なりし鎭南浦署長は十四日歸任、又南浦署より平壤署に轉せし田中警部補は同日着任、[illegible]部よりの南浦署に出向せる吉川警部は十五日赴任す

大邱

▲侍從武官來邱 慰問使侍從武官は陸軍部隊慰問として各地を巡回せられ二月十四日午後四時五分大邱到著、官、司令官、其他各官廳部隊、小學校生徒等の出迎あり於て二十五日大邱發釜山に向はれたるが陸軍部隊の慰問の豫定

▲水府煙草種子不足 慶北支部專賣課大邱出張所にては例年草耕作者の便宜を圖り內地より種子の取寄せの依賴に應じつゝあり今年も水府種子の取寄せを交涉せしも本年は水戶地方不作の結果依賴に應じ難しとの事にて大邱地方水府煙草耕作には多少の影響ある可しと觀測せらる

▲三郡產業講話會 既報の如く慶北道廳に於ては參與官始め勸業係本谷常松松井の諸氏漆谷星州金泉の三郡に出張し產業講話會を開きたるが各郡面とも來會者は郡參事面長篤農家地方組合員共進會出品人觀覽者普通學校職員生徒等にて頗る盛況を極め來會員多數にて漆谷各面四百七十四名星州各面二百六十三名金泉各面七百八十名計一千五百十七名

釜山

▲入庫米激增 依然として保合なるが故に庫に入米するもの夥しく增加し十二月末七萬三千五百七十四個なりしが二月末に至りて實に九萬四千百六個の多額に上り寸隙もなき充滿を來せり其他共同倉庫の八萬餘個並に各商店、屋外積等を通算する時は優に二十二三萬の米穀は釜山に停滯せると云ふべし而して當地金曜會にては既報の如く屋外積の米穀に對しては備後斷じて擔保貸出はせぬ事に決議せり

▲追悼商議會頭寄附 日鮮人商議合同にて主催となり大典式殿及び伊勢大廟參拜の拜觀團體を募集中なるがこれに對し追悼房太郎氏は金百圓を記念品並に出產費用として寄附せり

▲久納主幹退社 釜山日報主幹にして六年間執筆せし久納重吉氏は今回同社を辭任大邱朝鮮民報主筆として近日轉任の筈

▲素人義太夫會 釜山竹本彌島太夫連中は絲樂會、破鏡、竹廣、鞍馬古思の各會後援の下に十五日より三…

光州

▲若見侍從武官 來る二十日當地著の豫定なれば浦野警務部長は井邑迄工藤長官は松汀里迄市中一般は光州橋畔まで出迎の筈にて市中の衞生狀態に於て不都合なきやう其々準備中なり尚市中一般は鈴木署長部下を指揮して出迎ひする旗を掲げ內鮮學校生徒も出迎ひする筈なりと

▲道技術員會議 十五日より當地に開催の筈なるが水產は十五日より三日間會議十八日より九日間講習會を開き畜產は十五日より四日間會議を開き十九日より六日間講習會開催の豫定なりと

▲光州學校組合議員選擧 十九日擧行の筈にて民間多少競爭あるべき見込なるも前任者には多大の變更なかるべしと

▲新道路ご面事務所 由來光州面事務所は頗る不便なるものなりしが官民協力之れが改善を謀り近來大に進捗し面事務所の如きも元模範的の[illegible]を買收し一部改築使用の筈なるが來三月の頃は道路修築と同時に好適位たるべしと

▲浄瑠璃の溫習會 旭館に於て浄瑠璃の溫習會を催せるが出演者も多數の事とて非常の盛況を呈せり

▲迎日水利組合認可 大塚非次郎氏等十二三日道廳勸業係諸氏歸廳せり迎日水利組合は去る十二日附を以て認可の指令に接せり

▲稅關出張所移轉 大邱稅關出張所は去月以來新廳舍新築中なりしが今回落成し十四日より該廳舍に移轉したり

▲前川丸警氏出張 慶北支部專賣課大邱出張所長前川丸警氏は專賣課用務の爲十三日京城へ出張

▲高女生徒募集 大邱公立高等女學校にては來る四月新學期に入學せしむべき第一二學年生徒約十名を募集する由なるが入學志願者は來る三月二十日迄に出願すべく試驗は二月…

▲救世軍在營 大邱救世軍にては二月十六日より二十日まで同日…

▲商業會議所 大邱商業會議所に就て承合すべしと

黃州より

坡柳生

鎭ニ浦埠頭所見

曉の寒さ春日匂ひす人だかり

黃州俯瞰

夕日明るう冴え返る家々の煙

節篩どよめけど冴え返るのみ

○金融界の前途

大阪支局記者

○金融季節の一とも申すべき貸節季節も越月後三日間は資金の需要は去月來決濟資金と重複し以外の繁忙を呈し無條件、一錢二、三厘のコール拂底し無條件、一錢二、三厘見當を唱へて引締り其程度は昨年大決濟期のそれと大差なき模樣に見受けられ申候

○只紡績手形の一錢一二厘處に止りたるは流石に去年末金利の大昂騰に鑑み銀行業者は深甚の注意を拂ひたる跡歷然と認められ候

○所謂舊正月に入りて資金回收如何にと見るに日銀大阪支店帳尻に於て一日に激增せる貸出千三百萬圓は五日四百萬圓と漸減し一日に於ける預金五十萬圓は十日千萬圓臺に漸增したり、從つてコール歩合は一錢より七八厘紡績手形は一錢二厘より一錢に低落し益々短期放資の傾向を呈し長期の擔保附商業手形は一錢五六厘見當を唱へ却て購買力減少の模樣に相成候

○斯くの如き傾向は昨年以來金融業者の取りたる政策として別に異とするに足らざるも昨今ます〳〵其色彩を鮮明にしたるは大に故なくんばあるべからず即ち現貨に募集しつゝある露國大藏省證券五千萬圓の發行及び來るべき內國債四千萬圓募集の計畫の二大事實は正に主たる原因と認むべきものにして假に五千萬圓全部我輸出軍需品の決濟に資せらるゝとするも一般金融界の前途に對する各自の認識に如何なる變化を與ふべきか何人と雖も氣配は緊縮傾向にありといふも異議なかるべく候

○なれどもいふまでもなく對外貿易の順調運賃收入の激增等に伴ひ正貨は益々增加すべく勞働市場の繁忙手形交換高の激增銀貨の輻輳等の事實は確に經濟界の反影ならんと存じ候

○然れども輸入貿易の不振は原料機械の拂底となり勞々事業發展の障害をなしつゝあり旁々歐洲戰亂の前途見定め難きを以て新事業は果して如何の程度まで勃興すべきか疑點なきにあらず斯の如くんば金融界は需要に迫られ甚だしく緊縮するものとも思はれず歐洲戰亂中は當分大勢は緩漫ならんも一時の如き緩漫時代は既に去りたるのみならず金利は弗々自然的に引上げらるゝものならんと被存候

人事消息

▲小田省吾氏(編輯課長)　此程開城へ出張　病氣の爲め歸京に決…

▲清水書記長(高等法院)　病氣の爲め歸阪に…

▲山本吉懋氏(旅團參謀副官)　十四日內地より朝鮮通過赴任

▲釘本藤次郎氏　十六日午前九時十分發にて奉天、大連、青島、上海方面に實業視察の爲龍山發

▲本田親義氏(尼崎汽船會社長)　十四日釜山通過內地へ

▲大立目大佐(步兵第三十五聯隊長)　十三日夜釜山發內地へ

▲緒方大佐(臨時軍第一聯隊長)　同上

▲松浦軍醫課　教育總監部にては二十一日より一週間の豫定にて開催さるゝ聯隊長及び各課會議列席の爲め十五日朝鮮東上

香南雪北

▲豫定の通り斷行可致候戰路上の機密は到底筆紙に盛し難く候條公務御多忙の處云々と云ふ時節柄危險千萬な一報が机上に飛び込んだ▲ハテまさか支那革命黨から手紙を貰ふ覺えもないがと讀んで行くと斯うである▲隣蹕附近に猛威を逞くしたる兎軍の一部隊は降雪に乘じ七日來猿頂里附近に現はれ盛に田野を蹂躪し橫暴至らざるなきもの如く▲又キージー將軍の指揮する其の飛行機は數日來後坪里、鳳儀山を經て春川の上空に出現し又其の斥候たる猿壁は後坪里、保安里の線に出沒せるもの〻如し云々▲總司令官は李道長官、總參謀長李參與官、藤谷第一軍司令官、武藤第二軍司令官、田岡第三軍司令官、寬騎兵旅團長、將飛行隊長を始め輜重、軍寫班、從軍通信員等堂々たるもので之こそ李總司令官が農事上の大敵近時出沒頻々に激怒して聯合軍を率いて征兎に上らんとするの檄であつた▲兎軍勇悍に防禦し得しや否や▲戰果の戰利品の一片だも惠聞を得ば光榮である▲今日は妙に投書計り集めて相濟まんが燒つ糞生と云ふ人から投書が來た▲何でも黃海道沖に烏で埋つた一孤島がある相な▲何處で聞いたか濡粟組が忽ち押しかけた迄はよいが▲其島には最うチャーンと決まつた權利が確定して居たので手の付け樣もない▲其處で折角視察に行つた連中はガツカリして却て自分が燒ツ糞になつて居るものも多いと▲燒ツ糞生も其の燒ツ糞の一人らしいナニ糞ッと一と奮發やり給へ

鄭圓隱 鵑石老人

不辭白骨歸塵土。一片丹心千古垂。獨闢見知特超越。海東理學遂開基。

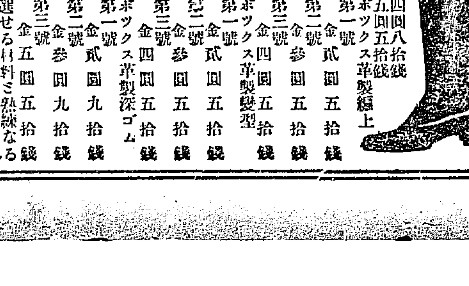
最新流行 腕卷專用時計
本品は有名なる瑞西國製にして最新流行の新形にて輕便と實用兼備し各地に於て高評嘖々たり今般同品賣捌の爲め特價にて左の通り安價販賣す
金四圓五拾錢 ●銀側十二形寶石入腕皮付
金六圓九拾錢 ●金張十二形寶石入腕皮付
金七圓五拾錢 ●銀側十二形寶石入上等アンクル腕皮付
金拾圓五拾錢
御注文次第保險郵送料外に金二十五錢添へ小包にて送る要は代金引換又は前金送料不足の時は他品と引換す
大阪市南區大宝寺町四ツ辻 合資會社 日野時計店 振替大阪壹貳六壹九

寫眞器械材料及藥品直輸入商 コロタイプ印刷
大連市大山通 光明洋行寫眞部改め
佐野洋行

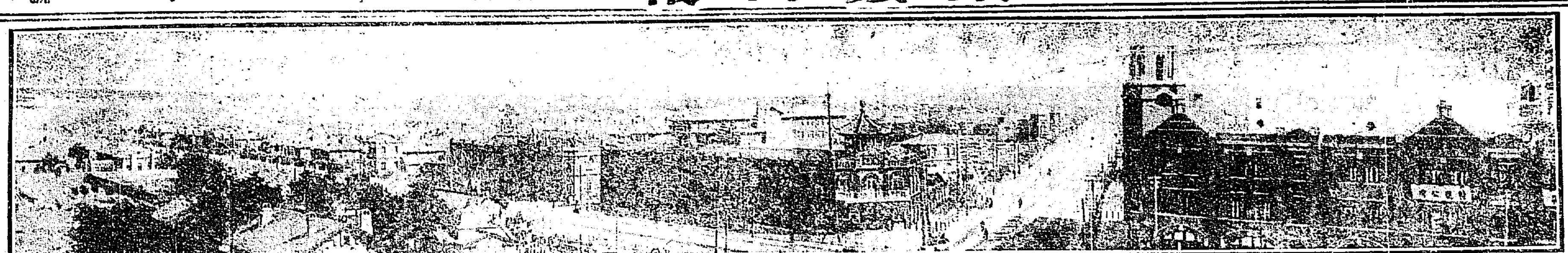
越後產物 地下足袋
朝鮮一手特約販賣

京城本町二丁目 釘本藤次郎店

齒科全般治療開始
大邱府上町農工銀行東隣
齒科醫士 菊池玄勝

○信用ある 東京三金の特賣

ボックス製 長靴 長サ一尺三寸 金四圓八拾錢 一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製短靴型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般紳士の實用靴として好適なり
▽御注文の節は靴の種類と足袋の文數を御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す
最新目錄 無代進呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九 振替東京一七〇一三番

輕便御宿 高等下宿
大邱幸町郵便局前 東洋舘 電話五四五番



此市街を脚下に
―奉天停車場より新市街を望む―

見よ!!空に覇者あり
陸軍耐寒大飛行を観るの記
豫備飛行の日
十三日午後七時 奉天城頭客舍に於て　特派員　勝村長平

十三日午前七時。（零下十二度）前日の雪は名殘なく晴れて見渡限り眼を遮る物なき平原は凝く凍つた様な大空と連つて居る。雪が水氣を少しも含んで居らぬ沙漠の小砂利の様にザク〳〵として居る上をギイ〳〵と腕車を軋めかせて、守備隊の練兵場へと向つた、寒さは厚い手套の上から又靴襪を二足穿いた上から手足の指先に泌み通る位であつた、併し風は全く死んで諸處の煙突から立昇る煙が少しも靡かぬ程であつた、東南の渾河の方面を眺めると今しも朝暾は枯草のみ打續く平原の果てしから其の上に棚引いた細長い紫雲に紫強い光線を射て驟て凍り乾いた平原の一面の雪に輝き渡つた、靜かなる朝の霧は低く立罩めてそれが美しい薄紫に輝いて何んとはなしに春の様な感じさへした、げに大平原の朝の日の美しさ雄大さは譬へて云ふべき物もない迄に果てしなく續く雪の平原に輝き渡る朝日の光はあらゆる美しさの中の壯大なるものであらう

▲四箇の格納庫
此の時既に練兵場の周圍には猛寒を冒して多數の觀覽者が集つて居つた。最も昨夜以來安奉線及び長春以南旅順大連以北營口等の沿線各地から集つて來た内地人の數は非常に多數であつて殊に十三日朝の如きは奉天停車場開設以來の降客數であらうとの事であつた しかしそれ等の觀覽者は九分以上内地人であつて其の内三分の一は滿鐵社員の制服を著けた者とそれが伴ふ處の家族などで、支那人の數は比較的尠い様に見受けられた。練兵場は奉天停車場東北約十二三町の處にあつて南滿洲獨立守備隊步兵營火藥庫の東營庭に連り

圖其の廣袤五萬餘坪　奉天新市街と舊市街（城内）との中間に在り十間房の正南方に位して居る。練兵場の西側の南に偏したる處へ東に向けて飛行機格納庫が四個並んで建つて居る格納庫の大きさは各長さ四十六尺幅四十四尺の鐵筋天幕張りであつて去る七日の早朝から建設に着手したるも結氷中の事とて工事頗る困難を極めたとの事である。岡大尉、澤田、中澤、川上、伊庭、坂本の各中尉の六飛行將校は早朝より飛行隊係員及び守備隊の兵士等を指揮して飛行の準備をして居る試驗委員長增田工兵大佐以下の各試驗委員將校獨立守備隊將校特別任務各將校等百數十名も亦集つて居る

▲脚下に喇嘛寺の大塔
玆で一寸記して置かなければならないのは四個の格納庫の内に組立てられてある四個の飛行機であるがこれは十二日午前迄に組立てを終了して發動機の試運轉をしたのであるが其種類は二種に分れて居つて北の方の三個の格納庫に在るのは各七十五馬力モーリス、ファルマン式複葉飛行機廿六號と十六號及廿一號とであつて其次は百馬力のニューポール式單葉飛行機であるが十三日の試驗飛行は都合上モ式廿六號と十六號との二機に就て行ふ事に定められて居つた午前九時頃二十六號及び十六號機は各飛行將校の指揮に依り

圖十數名の兵士等が　格納庫から練兵場に運び出した九時三十分氣溫零下七度二十六號機に澤田中尉が搭乘すると、見る間に驟て烈しいスクリンの廻轉は煙の如く雪を吹き捲いて二十六號機は五十米突ばかり北へ向たつて滑走して輕く離陸した靜かな空に快よくプロペラの唸りが聞えて來る。澤田中尉は練兵場を二周廻して稍北西に飛び喇嘛寺の大塔の上を一廻りして歸り來り南方に向けて著陸する。と、數千の觀覽者は離陸の際に幾層倍した喝采を浴せかけ感嘆の聲動搖めき渡る。其の中に岡大尉は早くも澤田中尉に代つて滑走僅かに二十五六米突ばかりにて離陸し、獨特の妙技たる小廻轉及傾斜飛行等を行ひ練兵場を三周して著陸した。此の飛行に於て澤田中尉は高度百五十米突。時間十分間。岡大尉は高度百六十米突。時間六分間を記錄した。

▲新市街の天空に大圓形
十六號機は岡大尉の著陸と殆んど同時にプロペラの音勇ましく中澤中尉搭乘し二三分間にして遙かに東南渾河鐵橋方面に飛び去り續いて伊庭中尉は二十六號機に搭乘して二百米突の高度を以て練兵場の南方なる滿鐵病院の上に飛翔し靜かに圓形を描きて滿洲の冬に十六號機と相追隨して新市街の天空に大圓形を描く、二機のプロペラは飽まで靜かに澄み渡れる大陸の大空に響き渡り、古都奉天のクラシックな空氣が新文明の奇聲に震ひて居る様な感じがした。觀覽者は思はず拍手し喝采すれば此の時漸く集り來りし多數の支那人も驚異と感嘆の聲を揚げて相和した。

圖病める同胞を慰問し　停車場前附屬地を一周し二中澤中尉著陸するを待ちて川上中尉飛翔し伊庭中尉に代りて坂本中尉飛び各將校何れも劣らぬ飛行の技術を示し、午前十時四十分一先づ午前中の飛行を終了した午前中の風力は高度二百米突に於て一米突と云ふ極めて微弱なる進行で冬の奉天には殆ど

圖類例なき程の靜穩　であつた。午前の飛行が一と通り終ると觀覽者を二つに分つて岡大尉は二十六號に伊庭中尉は十六號機に座乘して、機械の操縱法に就て實地を示し一場の講話があつたが伊庭中尉の講話振りは頗る手に入つた者であつた。午後に移つた和煦たる日光は春の様な心持ちもするが降り敷いた雪は少しも解けはしない踏み固められて硝子玉の様に凍つた土を午後も同じく練兵場へ出かけた。

▲機翼に輝く日の丸
一時三十五分二十六號機に伊庭中尉が搭乘し奉天の守備中隊長飯島大尉同乘した。機は少しの重みを感じた様子もなく忽ち練兵場より一直線に西々北に飛んで奉天城壁の形に隨つて城を一周して居る内に、又一方十六號機も二十六號に遲るゝ事四分にして坂本中尉操縱安上將軍顧問菊池中佐後乘して此れも離陸するや直ちに西を指して奉天

圖城内の上空を横斷　して西北へ飛んだ、兩機共に翅翼に大なる二個の日の丸を染め出したるを奉天城上に飜へし乍ら或は高く或は低く悠揚として暫くは蒼い秋空を樂しむが如く見えて居つたが、十六號は場内を過ぎて更に西し二十六號は低空飛行路を取りて城内に進入し、奉天舊宮殿上及び總督衙門並に張作霖將軍の第二十七師團北大營の上空を訪問飛翔を爲し空中から敬意を表した、此の時新城子迄飛び去つた十六號も歸つて來て共に奉天城内の低空飛行を爲し、驟て練兵場に著陸した此の日此の時此の瞬間まで空を飛ぶなどと日本人が大囈言を吐くと云つて居つた

圖城内多數の支那官民　が頭の上に響くプロペラの響に驚きの眸を仰た時更に驚くべき物體を認めた時の心持は如何であつたらう!? 次には中澤中尉が十六號機を操縦して參謀本部の黑澤大佐が後乘し二十六號機は川上中尉が操縦して奉天上將軍軍事顧問兼務顧問町野中佐が後乘し著陸後、川上中尉は再び關東都督府參謀廣中中佐と同乘して飛揚した。廣中中佐は嘗に青島攻擊の際屢々飛行機に搭乘して敵狀を偵察した勇士である。寒氣に對する試驗は零下五六度内外であつた爲めに別段に試る事は能きなかつた、午後三時十五分飛行を終り午前と同じく伊庭中尉の講話があつた。

▲同乘將校の感想
圖飯島守備隊長曰く　イヤドツモ面白いの何んのつて非常なものだ、斯んな味を覺えた日にやア忘れられやしないよ、張作霖の兵營の上を飛だら人は見えなくて猫の赤坊の様な馬だけ見へたよ、りかけは少し低くかつたから兵士も澤山に見えたよ。兵營と云つてもマツチ箱位にしか見えぬよ

圖黑澤大佐曰く　愉快々々天人に成つた様な心持で下界の人間とは丸で縁切れに成つた様な氣位になつて下て行たつて一寸馬鹿らしくて物は言はれぬと思ふ位だ、風はないが速力が早いから一寸手を出して見ても非常の風力を感ずる、寒くは無いよ今日位では下の寒い時と同じ位だ

圖菊地中佐曰く　何に怖い事が有るものかそれでも時々十米突位眞空のやうな處が有つてスーツと機が落込む様な事が有るが其の時は何んだか機から離れて終ひそうで一寸危ない様な感じがした城内の支那人が眞黑に集まつて皆な上を向いて口を開けて眺めて居たのが分つたよ

圖町野中佐曰く　寒くは無い、危いとも思はなかつた僕は奉天の地理がよく分るから直ぐ僕の家が見當つたよく見える非常な遠くまで見える云々

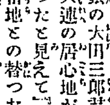
◎伊豫丸火災 棉花を燒失す
神戸碇泊中の日本郵船會社汽船伊豫丸（六、三二〇噸）は十四日夜船艙より出火し百棚の棉花其の他諸種の雜貨を燒失の上辛うじて猛火を消し止めたり損害約八萬圓（大阪特電）

◎順川金融組合の金庫破り 拔手強盜と爭ふ
十二日午後七時五十分頃平安南道順川金融組合に二人組の強盜忍び入り其の金庫を破つて一仕事せんとしつゝある際宿直員の三宅俊治氏物音を聞き付けて賊の來襲を知り大聲の上逮捕せんとせしも強盜は棍棒を以て三宅氏に抵抗毆打し結局在庫の現金四十圓を強奪逃走せしが急報に依り其筋にて犯人嚴探中尚ほ三宅拔手は打撲傷を受けたり（平壤）

◎帳場の金を盜む
京城南大門通五丁目笑福旅館事本多すが方に寄食し原籍鳥取縣東伯郡長瀬村大字長瀬二九秋下兵一（三〇）は昨年十一月初旬より從兄の間柄なる全北全州郡助桂面東山洞門脇善藏の依賴を受け同郡三禮面高川洞金祐弼より貸金廿五圓九十錢を取立てその十三圓を費消し殘金十二圓九十錢を拐帶して十九日京城に來り前記笑福旅館の厄介となりたるが同家にて十二月二十九日に帳場に在りし主人の現金二十圓及び下女の金二圓六十錢を竊取したるを手始めに汽車待合せのため同家に休息中の鐵原の憲兵鈴木某の煙草入より金一圓及び同旅館女中部屋の押入柳行李中にありし女中佐賀まつの革製財布より現金八圓及び額面十圓の朝鮮商業銀行小切手一枚を竊取し全部遊興費に使ひ果したる事發覺本町署の手に押へられ十五日檢事局送り

◎忘機吟社例會
忘機吟社例會は十三日パコダ公園内甫木堂に開催、會する者香石、小茶、如水、椿堂の諸氏等九名にして夢後作、春初小雨二題を披露し汲古氏の席上揮毫に來會者一同の合作あり盛況なりき

◎田本氏送別會
多年京城鮮人の教育界に貢獻せし元京城女子公立普通學校長田本氏の送別會は十四日午後四時より京城ホテルに於て開會されたるが來會者約百五十餘名非常なる盛會なりき猶ほ席上關屋學務局長始め數多の送別の辭ありて午後六時散會したるが氏は十五日午後七時五十分南大門發の列車にて東上すべしと



鮮銀の大田三郎君は此頃大連の居心地が良くなつたと見えて京城と當地との替つたところはザツト左の通り」と書いて送つて來た中に京城にては朝晩佛閣西本願寺の鐘のやうな音を耳にするが大連では曹洞宗の諸行無常の鐘の音を聞く▲京城では家庭用の瓦斯は臭いものと極まつて居るが大連では少しも臭くない▲京城では電話番號の呼び方に付き特別の注意書があつたやうに記憶するが大連の電話番號には一々假名が付けてある▲京城では藝妓の數が三百人足らずであつたと記憶するが大連では四百六十何人とか居る、京城の内地人は六萬人位であるが大連は三萬五千人位であるから大連にはゲエシャイニング、ビイブルが多いと見える▲註に曰く外國では銀行に預金をして小切手で支拂を爲すのを以て紳士の資格とし之をバンキング、ビイブルと申すさうだが日本では藝妓を聘するのが資格で之を近來ゲエシャイニング、ビイブルと云ふさうだ

◎元陸軍副尉の罪　近來京城錦路署管内々鮮人……よ此等……きより本署に引致して取調ぶると同人は阿片吸食常習の爲め身を持ち崩……引續き嚴重取調中

◎尼奉ドト……のなるが昨今益々泥棒を働き各戸を荒し廻れるを鍾路署の刑事が探知し……

……番地池永完……所より出火したる……京城の……龍山の……

◎阿片吸入　京城西小門町居支那人叢文而（五三）同居支那人王英源（……

◎母親に感染　京城若草町……尾千鶴子は過般診斷の結果……紅熱と……

天氣　曇り後晴れ　二月十六日

日出　七時二十五分　日沒　六時十一分

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三番　二月十三日より新寫眞と差替 ○奇術女優術の動合 ○滑稽失敬な奴 ○伊太利アンブロジオ會社 ○泰西大悲劇 母の悌 全三卷 [illegible] ○新派大悲劇 琵琶歌 全三卷 [illegible] ○舊劇 旗本金太 [illegible] 全二卷七十六場

壽座　本町　電話五七八　新派劇角藤派木村清憲一行 新派二月十六日替狂言 佐藤紅綠氏の作 悲劇 [illegible] 喜劇 ハツピリー 二場 [illegible]

大好評の大正館　舊劇 旗本金太　新派 琵琶歌

御成座　御成町　電話一二九一　十五日目替藝題 前狂言 平假名盛衰記 切狂言 白浪五郎 [illegible]

壽館　壽町　電話一〇五〇　武藏大掾、桃松軒巴合同大一座 二月十五日の讀物 神崎與五郎東下り（武藏大掾）小栗判官（京山八千代）明治新開三人娘 田宮次郎（吉田一奴）部新開連 春子、柳生十兵衞漫遊記（桃松軒巴）一休悟道錄、義士銘々傳（長講二席）武藏大掾 [illegible]

佐久良座　新龍山　新派自然劇團三輪質一行 二月十五日藝題 前狂言 酒の罪 喜劇 拔 財布 五場 十一場 [illegible]

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七　二月十日より特別大興行 ○實寫 歐洲戰亂エクレア週報 ○稽古コイアの間 [illegible] ○新派家庭劇 ふたおもて [illegible] ○泰西人情劇 潔き心（此子此母）[illegible] ○實錄 四谷怪談 [illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇番　京山若月 京田恭爲合同大一座 今夜の讀物 [illegible] 毎夜六時より必す開演

備後屋　大邱村上町（元東洋協會跡）　輕便御宿　商等下宿　御中食所

葬具一式　造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候　京城永樂町二丁目　大葬社　電話一〇五六番

株式會社京城葬儀社　旭町二丁目（名古屋城下）電話一五六七番　本社は支店出張所等無之に付御用命の節は直接御用命願上候　靈柩馬車の設備有之候　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番

弊店員伊藤小兵衛儀病氣の處本日死去仕候に付ては一々御通知可申上筈の處乍略儀新聞紙上を以て此段謹告仕候
丁子屋洋服店　店主　小林源六
嗣子　伊藤久次郎
追て來十七日午後二時南米倉町自宅出棺南山東本願寺に於て葬式相營申候
親戚總代　伊藤和吉　內山久松　島田喜三郎
友人總代　小林新三郎　伊藤貞吉

平壤鬼頭支店主任中村兼松儀豫而病氣の處十四日午後十時死去仕候間此段辱知諸君に謹告仕候
追て葬儀は來る十六日午後三時自宅出棺華頂寺に於て相營み可申候
男　晋平
親戚一同

安奉沿線 五龍背驛を距る二丁　滿洲 五龍背溫泉　閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し　風光絕佳にして一大樂園地なり　諸病に特効あり理想的療養場なり　宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

蘇つた龍山市街（一）
新生命を得て活氣横溢す

龍山は朝鮮二箇師團増設と云ふ大問題が解決して以瀕來死の病人が蘇生した樣に景氣付て來た『待てば海路の日和』とはこの事であらう『龍山はよくなつた』『龍山に轉宅しようか知らん』と云つた樣な話が井戸端會議の議題のみかは相當の人々の口からも漏れる將來の龍山、未來の龍山、而かも兵營地として、工業地として郊外生活地として、或は又近く京城にも劣らぬ發達を遂ぐる市街地として目されて居る龍山、其多幸にして多望なる龍山に就て、しばらくその新たなる運命を縱横に研究して見たい。

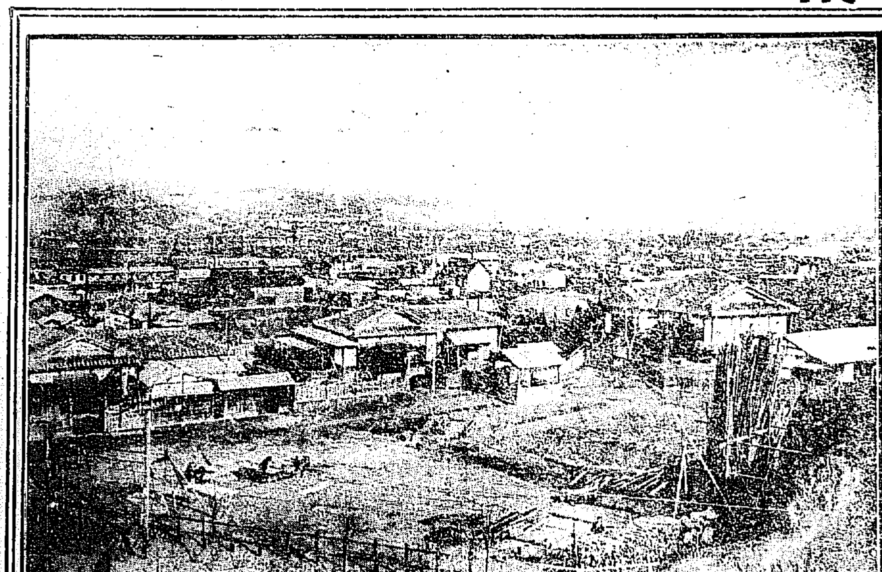
◇新龍山と舊龍山

龍山の將來を論じ發達を豫想せんには何よりもまづ龍山の地理的關係を述べねばなるまい、龍山は龍山停車場を中央に挾んで新舊の兩市街に別れて居る爲新龍山と云ひ舊龍山と云ひて何んだか全然別個の獨立した市街の如く思はれて居る從つて兩市街の人々も新龍山舊龍山と別々の考を抱いて居る樣だ、これは甚だ面白くないことで兩市街の連絡を圓滑に且つ密接ならしめようと考へた者もあつたが如何せん前記の停車場と云ふものがあるために中斷されて居る只辛うじ二筋の二間道路を設けて交通の便を圖つて居るがこれとて充分とは云へぬ數年前新舊龍山の住民が電氣會社に向つて新舊龍山電車の終點を鐵道局官舍の西北面迄延長して連結したならば餘程交通が便利になるであらうと會社に交渉したが容られなかつた

◇所謂片輪な發達

更に又舊龍山榮町の道路を新龍山鐵道官舍附近まで延長しようとしたけれども鐵道線路に踏切番を三箇所に置かねばならぬことゝなり其費用を市民の負擔に課せんとしたためにこれ又不成立に終つた此樣な譯で兩龍山は未だに完全な連絡が取れずに離れ放れになつて居る

だから市街の發達も片輪な發達で比較的物資の需要者の多い新龍山には店らしい店はなく之と反對に需要者の比較的少ない舊龍山では供給者たる各種の商店が多い故に若し新龍山に住んで居る人が二區の電車賃を拂つて舊龍山に買物に行くとすれば今一區增して京城に來るし又徒歩で行くので龍山に買物に行くとしても二圓以上の品になれば皆京城に來るそれでも何ほ往復の電車賃以上に利益があると云つて居る、それなら舊龍山の商店は香ばしからぬかと云へば却々以て相當に繁昌して一寸した日常雜貨は京城に負けぬ大勉強で賣つて居る


師團司令部經理部前より龍山市街を望む

海賊の片破れ

京畿道高陽郡西木島生れ丁文三（二〇）は數年前同里の表鍾鶴（二十）外四名と共謀し龍江面玄石里の對岸に碇泊中なりし朝鮮式帆船を襲撃し數十圓を強奪したるものにて當時他の犯人は悉く檢擧されたるも丁文三のみは其後巧みに姿を晦ましゐたるを此程に至り高陽署刑事の探知する所となり黄海道金川郡邑内に潛伏中を捕へ取調べの上檢事局へ送致したりと

ビスケット、パンや干菓子は木村屋の品に限ると人は云ふなり（京城明治町、電話一八七〇番）

慶北支局主催狩獵大會

本社慶北支局にては去る十三日倭館地方を中心とし春季狩獵大會を開催せり會するもの三十餘名頗る盛會を極め受賞者は
▲一等（銀側懷中時計）倭館塚本氏▲二等（置時計）慶山三木氏▲三等（二連銃袋）金鳥山正分氏▲四等以下三苫、小池、小山、村田、仙波、今井、山下、金子、栗原の諸氏なりし

日韓寺の改稱

從前府内花園町に在つた禪宗日韓寺は昨年中大和町三丁目遞信局官舍上の見晴しよき松山に引越した處道同寺號を改めて無量壽山曹谿寺と唱へることになつた住職は大隆大定和尚、境内は老松の林に圍繞されて非常に眺めがよく京城名所の一つになつた

◉化粧研究會巡回講演　國産奬勵の趣旨より起れる日本化學化粧研究會員梶本某來京、櫻井町二丁目家村宵楓方に滯在化粧法講演の求めに應ずべしと

演藝

▲壽座　木村清盛一行十六日の替り狂言は一番目當る火二番目喜劇ハツピリーなり
▲御成座　阪東邑麿一座十六日の替り狂言は前小假名曾我後記切白浪五人男にてその役割左の如し
源太郎天小僧〔illegible〕千島およし（仙太郎）幸吉（南郷）延壽お兼（勝雀）平治力丸（利一）播四日本左衛門（苑橋）船頭松右衛門賢け樋口立次郎（鶴瓶）
▲壽館　浪花節武藏大掾十五日の讀物左の如し
神崎東下り（宮久男）小栗判官（八千代）戸田啓次郎（一奴）恭天幸子柳生十兵衛漫遊記（巳之一）佐野道綱後上錦々草（大掾）

越後大評定
第百三十一席　早川貞水口演
足輕鐵平の注進

鐵平言葉を次ぎ『左樣に御坐います、而して右と左から責め立てられるので、大野樣も苦痛に耐へ兼ね、到頭御前樣の御身の上を、殘らず白狀いたしました、第一襟に縫込んだ密書とやらを、足輕共が取上げて、此密書を證據に、永見樣へ差へ出で御前樣に詰腹を切らして了へば最う安心、一同喜んで是より永見樣の屋敷へ、大野樣を連れて行くと云ふ所を私只今見受けましたから、此段御注進に參りました』美作ハツと詰り暫く言葉もなく、鐵平の顏を見詰めて居つたが、美『さては一大事、鐵平よく注進いたした』ピリ〳〵ピリツと美作が呼笛を吹くと近臣二十餘人忽ちの間に其處へ出で來る、何と申しても其昔は三萬石、今は減らされて一萬八千石、外に内扶持といふものがムいますから、依然三萬石の上の高はムいますから、なか〳〵の富貴、去年から今年へ掛け謹愼中ゆゑ屋敷は誠に寂として、音さへないやうでムいますけれども、流石は大家、美作がピリ〳〵ツと呼笛を吹くと、田邊平十郎、坂田嘉十郎を初めとして、二十有餘人ずらりと兩手を支き一同『何の御用でムいまするか』美『コレ一同の者、是より一番部屋足輕四人を、長勝寺の畷に待ち受け殘らず討止めんければならぬ、早速用意いたせ』一同『心得ましてムる』三十餘人の家來は畏まつて退下ると、程もあらせず支度を整へ出て來りまする、美作も自ら支度いたし『美作イザ各位身共に續け、コレ鐵平其方小身なりと雖も、能く主を思ひ、注進いたせし段殊勝の至り、當座の褒美として之を取する』と二十五兩包を一つ放り出したから鐵平は『有難うムいます』と之を取つて押頂く途端に、拔討にバサツ、鐵平の首は前にゴロリ落ちたり、美『下郎は目の善惡なきもの、今日の次第を他人に語らるゝも測られず、斯うして殺して了へば後の安心』詰らないのは鐵平でムいます、好んで命を捨てに來たやうなもので二十五兩包を貰つて、御禮の言ひ損なひをした、縱令主を思ふと雖も、惡を知つて之に與みする者は皆此の如くでムいます、此方は田口勘十郎、川上與惣次、野呂勘兵衛、市原半九郎等一番部屋四人の足輕が、大野次郎兵衛を眞中に、左右から取圍み、野呂勘兵衛が大野の襟尻を把り、稻田鍛冶橋の永見大内藏樣の屋敷へ引立てんと、一番部屋より道を左に取つて來る、長勝寺と云ふ禪寺の門前に掛ると、表門には『不許葷酒入山門』と云ふ戒壇石がある、其前に來ると互に聲を掛け『勘』『川上』『上るよ』『市原』與『野呂』道が惡いよ』と互に氣を注け、是から堤へ上らうとすると、此處は誠に道の惡い所で、抜なしく歩けない、半『何うだ田口勘『市原道が惡いな』と互に聲を掛け、注意しながら行く折りしも、突然長勝寺の卵搭場に隱れて居たる小栗の家來廿餘人、第一番に皆川三太夫、槍を捻つて躍り出で、田口勘十郎の腰の邊を強かに突く、田口は突かれてアツと叫びましたが、なか〳〵剛の者『曲者ッ』と拔討に三太夫の槍を眞中より切つて落す、三太夫『殘念』と腰刀を拔いて斬込んで來るを心得たりと渡り合ひました、が、急所の痛手に心神くらみ、タヂ〳〵と蹌踉く所を、得たりや應と三太夫、眞向より斬付けましたから、流石剛氣の勘十郎も兩眼眩んで打倒れます

お聞きなさい

▲防つて件の如し〔illegible〕
〔illegible〕知人に通知した奇抜な結婚式は此程〔illegible〕無事擧行された花婿芳幸氏（三〇）は數十名の知人を招待し披露宴を催した花嫁は大日本製糖會社員久保田門太郎氏の義妹多津代（二二）と云ふ人で愛らしい花嫁の如く思ひが頗る宜しい結婚後花婿を可愛がる人は是迄頗る少ないから〔illegible〕
▲美人は四十八の醜婦　文壇の中村孤月君と阪本紅蓮洞老とは風采に於て文壇の二醜といふ評判その孤月君が新らしい女に無暗と近づきたがる先達甲州へ旅行したといふ事だつたが事は甲州の山奥に新しい女を尋ねて行つたのであつた何でも田村俊子女史が甲州の山奥に二十七八歳の美人の哲學者がゐると嬉てたので孤月君がノコ〳〵出かけたものらしい處が美人どころか當年四十八歳の醜婦で矢鱈と新らしがるので流石の孤月君も尻に帆かけて歸京した處が其女がいゝ氣持になつて『伊藤野枝さんを追廻す事をやめたら戀してあげます』と孤月君に矢文を送つたさうだ

二月十七日九星　舊正月十四日甲申　木命九紫　開破友引
▲九紫〔illegible〕

雜報

◉下關取引と總會　〔illegible〕
分的解合を許し又四月限の立會も許さず
二月限は納會期日に至りて轉賣買戻し許可

商況

債券現物特電
東京十四日出來値段（前日との比較）
東洋拓殖	〔illegible〕	〔illegible〕
日韓瓦斯	一五八、八〇	七一、五〇
朝鮮銀行	一八、一〇	〔illegible〕
南滿鐵道	一五〇、〇〇	〔illegible〕

公債直取引特電
東京十四日出來値段（前日との比較）〔illegible〕

深川在米特電
〔illegible〕

東京期米特電
〔illegible〕

大阪株式特電
〔illegible〕

大阪三品特電
〔illegible〕

大阪期米特電
〔illegible〕

朝鮮物産特電
〔illegible〕

◉金布類益々昂騰
綿糸は三品市場の活躍に連れ十四日の大阪現物入電は一圓高の平均百十九圓と細布十錢高を齎らし眼先更に一品進あらん勢ひを報じたるが之と同時に當地に於ける
粗布相場は又三圓方の値上げ發表
〔illegible〕
十一日以來都合三回に九圓の値上
〔illegible〕
越前途の品薄を見
〔illegible〕
細布も輸入晒金巾
〔illegible〕

◉金物材の其後
〔illegible〕
約一割五分乃至二割近く反騰
洋釘は先輸入の多き
〔illegible〕
至二圓方低落
各時共一圓乃
〔illegible〕
燐寸入荷多す
〔illegible〕
約定品の弗々移入も尠からず
〔illegible〕
殊にボス燐寸の如き危險の度一層甚し
〔illegible〕
或は一時小弛み模樣

下關相場
▲大豆は〔illegible〕

京城正米
〔illegible〕

南大門の廻米
〔illegible〕

生魚市場
〔illegible〕

仁川現物市場
〔illegible〕

仁川期米
十五日前場
四錢安の入電
連節七八錢方保合
〔illegible〕

市場零聞
前場動かず更に新安直に
寄付は殊に今筋の目先買に支へた
前場の手振り
〔illegible〕

行賀仲買店　仁川海岸町三丁目　電話一二二番

現物賣買仲介　〔illegible〕　電話長一六二八番

▲又復保合乎
軟派の盛廻し〔illegible〕
〔illegible〕
策戰の顯はるゝは今後と雖も
〔illegible〕
▲後弱腰入深し
買方は依然を根據に
軟軍は遂に今や
營業の賣り崩し
喰ひ退き多
演出しは前途仁川米界の大喧嘩
四限の大戰
三限の大混組
▲私信の一齣
反つて皮肉に買狙ひ
軟派は依然在來の巨多賣行不振等
材料の正米二萬石買付
何か買材料出來
基又々軟派失敗
一爆發は免れ難く
依然入津薄
〔illegible〕

仁川米豆取引所
十五日の四月限

前場　寄付　止　高　安　引
一節	十一圓八十五錢			
二節	十一圓八十七錢			
三節	十一圓八十八錢			
四節	十一圓八十四錢			
五節	十一圓八十〔illegible〕			

平均値段
一萬二千五百石　一萬四千〔illegible〕

賣買取組高
	出來	值	比較
二月限	二千二百五十石		
三月限	二千七百五十石		
四月限	九千〔illegible〕		
十四日後場		一〇九五	一安
		一〇八九	一安
		一〇九九	一安
		一〇九六	二安

〔illegible〕十五日京城測候所（前日中最低溫度）京城零下八度二分　仁川零下七度二分

汽車

化學的に齒を強く美しくする

理想の齒磨は

クラブ齒磨

齒の良くなる理想の齒磨として

帝國醫科大學各醫學專門學校を始め齒科醫學者間に最も厚き信用を有する最新式の齒磨は**クラブ齒磨**也

化學的に齒を強く美しくする

最新式のクラブ齒磨の使用を奬勵する聲益高し

敷島六本の價か口中衞生の安危の岐れ目

齒の良くなる**クラブ**齒磨は小袋一箇（三十日間御使用量入）僅か金五錢にて提供致居り候故、御一日分只の一厘七毛にも足らず候。一厘七毛は敷島一本の價の三分の一に相當し、敷島一箱の價の六十分の一に過ぎず候。此僅かなる一厘七毛の費用にて口中衞生が最も安全に保たれ、御氣分の爽快は申すに及ばず、絕對に口臭口熱を除き、齒痛を未發に防ぎ、食物の消化を助け、延いて御職務上の効率增進とも相成る次第に候へば、帝國醫科大學、各醫學專門學校を始め、有力なる醫學者間に此の**クラブ**齒磨が理想の齒磨として推奬されつゝあるも故ある哉と存じ候。

若し口中衞生上の効果如何を顧みず、唯だ數を多く賣らん事をのみ目的として安き齒磨を造るとせば、如何にしても右の如き顯著なる効力を具備せしむるを得ず、是れ坊間に販賣せらるゝ齒磨の多くが無害無効なる所以に候。假りに斯の如き安齒磨の價一袋一錢五厘とし、廿日間の使用に堪へ得るとせば、一日の費用七毛五朱に該當し、**クラブ**齒磨の如き高級齒磨の使用せらるゝ場合に比して僅か九毛五朱の差に過ぎず、即ち一ケ月三錢にも足らざる差額に候。只の三錢即ち敷島六本の價を吝まざると否とに依りて口中衞生の安危が岐るゝ次第に候へば、近來有識者階級に於て**クラブ**齒磨の使用を奬勵せらるゝ聲益々高きも怪むに足らざる事と存じ候。

ガタスマ

京城日報

第三版

十六日朝刊（第三千三十一號）

年中無休刊　明治卅八年九月十日第三種郵便物認可　（水曜日）　大正五年二月十六日（一）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵稅共）▲郵券代用一割増
廣告料 五號活字一行金七拾錢 ▲二號活字同 ▲三號活字同 ▲六號活字同
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 谷口政太郎
太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話（編輯用 長三四五番 二二四番）（營業用 長三二八番 六〇〇番）振替貯金口座 京城三〇〇番

京城日報　制海權の効力

此度の大戰役の始めより、獨逸は其艦隊を動かさず、世界の海面は英吉利の獨り制する所たるの姿あり、是れ常に制海權我味方にありと稱する所以なり、然れども此制海權や、敵の海軍力を破碎し盡くし、而して後に之を得たるにあらずして、我敵の出て來らざるが爲めなり、從つて時ありて海洋の危險を傳ふることあるは亦已を得ざるなり。

客秋以來地中海は危險區域たり、是れ獨逸潛航艇此に出沒して危害を商船に加ふるを以てなり、然るに最近に至りて獨逸襲甲巡洋艦ルーン號の、阿弗利加沿海に遊弋せることを傳ふる折柄、獨逸武装商船メーウエ號は、北海より進出して、英船一隻を擊沈し、更に商船アッパムを捕獲し、之を武裝して英船五隻を擊沈せしめ、同船は悠々米國ニューポート港に入りたることを報ず、故に讀者我日本船舶の歐洲航路に在るもの、蘇士運河通行を危險なりとして、新たに喜望峯航路を取りたるもの、亦此危險を展まざるべからざるに至る是れ世間今更の如く、英國の制海權を疑ふものあるが如くなれども、開戰以來英獨海軍は、未だ嘗て雌雄を決するの爭を爲さずして、互に其勢力を保留することを、是れ力めて以て今日に至れる次第にして、敵の海軍力猶ほ存する以上は、公海に危險を見るは蓋し避くべからざるところの事たり。

十九世紀以來、世界列國相謀りて戰時に於ける公海の安全と、中立國民の交通貿易の自由とを全くするに努む、最近千九百九年二月二十六日列國委員調印したる倫敦宣言の如きは、則ち最も具備したる國際條規にて、列國未だ其批准を終らずと雖も自ら是れ國際の定則を以て之を見ざるべからざる所のもの也、然るに一昨年列國戰を開くや、復た此に鑑みるものなく、英國は獨逸を封鎖するを以て敵を困迫するの第一要件となし、中立國と獨墺との間の一切の交通を遮斷せむとして、獨逸は即ち商船擊沈を以て、封鎖を破るの唯一手段と爲す、乃ちこれより後、復た天下に公海なるものなく、船舶を海上に行るものは、英國の制御の下に立たざれば、則ち獨逸の襲擊を受くる危險を避けざるべからずし［…］百年の歷史に依りて、漸く具ふるに到りたる國際法、及び國際條約的は此に全く破壞し去られたり

顧ふに戰爭は國家と國家とが、實力を以て其存亡を爭ふものたり、實力は唯一の判斷たり、國家は其存亡を賭するの場合に於て、一々他の例規に顧みる能はざるの情あり、是れ戰時に於て屢ば異例を見る所以にして、此度の戰爭が世界的大戰鬪なるだけ、其の國際法、國際條約の大破壞を來たすも、亦理數の已を得ざる所なるべく、北米合衆國は、此英獨兩國の行爲に依つて、其中立國民の權利を侵害せらるゝを甚だ大なりと爲し、兩國政府との交涉、甚だ頻劇を極むるも、遂に其要領を得る能はず、最近に至りて自ら陸海軍大擴張を行ふて、以て其威力を張るの計を取らむとするもの亦決して偶然にあらざるなり。

極東市場より　獨墺品驅逐策（三）

哈爾賓商業會議所の建議

□露國商人の缺點　上述の如く滿洲に於ける獨逸人の商策に對し我が露國商業者たるもの大に鑑みる所なかるべからず而して從來露國商人にして斯る策に出でし者なきは吾人の最も遺憾とする所也唯或一部の商工業者は哈爾賓市に倉庫を設置し中に商品を貯へ市場の形勢に應じて機敏なる商業を營むものありと雖も保存の關係上此等商品の多くは紗類、砂糖、石油及印度產護謨製品等の數種に止まり僅に凡百の商品を貯藏する露國商人又は之れが輸入仲介の業務を執る商館の如きに至つては殆んど皆無と云ふ事を得べし、事情斯の如きを以て露國工業界と哈爾賓市並に極東一帶の市場間との取引關係極めて薄く各自互に相解すること殆どなく從つて露本國の企業者と極東に於ける露支兩國人の經營に係る商事會社の信用程度を知る者の如きは曉天の星よりも尙稀なり、故に若し極東商事會社より信用掛買による貨物の注文を受くることあらんか、母國商工業は概ね之を拒絕するを常とし適々之に應ずることあらんか、豫め不拂の危險を慮り或は掛倒を見込みて之を商品に轉嫁するを常とす、若夫れ專ら現金販賣を旨とするものに至りては其商策の拙劣にして識見の狹隘なる眞に驚くの外なきなり、かるが故に同種の獨逸品に比し常に相場に甚しき差異を存し延て自己商品の販路を狹め遂に獨貨の跳梁に委するに至れるは怪しむに足らず、

□敵の長所を採れ　今や歐洲の大戰に際し、内に獨貨排斥、國產獎勵の聲喧しく外は獨逸が極東への輸出自由ならざる今日宜しく朝野東西相呼應して極東に向つて露國品の販路擴張を計るに努めざる可からず、而して此れが第一歩としては先づ獨逸が實行して多大の效果を舉げ得たるに倣ひ我露國も亦此際自國產品の販路擴張を目的とする所謂商品陳列館の如きものを哈爾賓市に開設し此處に行らゆる露國品の見本を蒐集陳列し且つ以て邦國品に對する智識を普く江湖に紹介し且つ其の購買に便し、斯くして鋭意獨貨排斥に全力を傾注せざる可らざる也。

京城雜筆　山縣生

▲東洋拓殖會社の補給繼續問題は會社及び政府の頭痛の因となりつゝあるが如し。我等朝鮮に在住する者は半島の農業と經濟とに少なからざる勢力を有する此一大會社の現狀打破の、我等の利害に少なからざる影響を及ぼすを慮りて、此問題の無事に解決せらるゝを希望す。

▲東拓の評判宜しからざるは否むべからざる事實なり。補給繼續に關して反對の聲高きは畢竟、會社の人望乏しきに源因するは多言を須たず、記者を以て見れば會社は其値ひする以上に不評判なる也、誠に氣の毒千萬と謂ふべし。

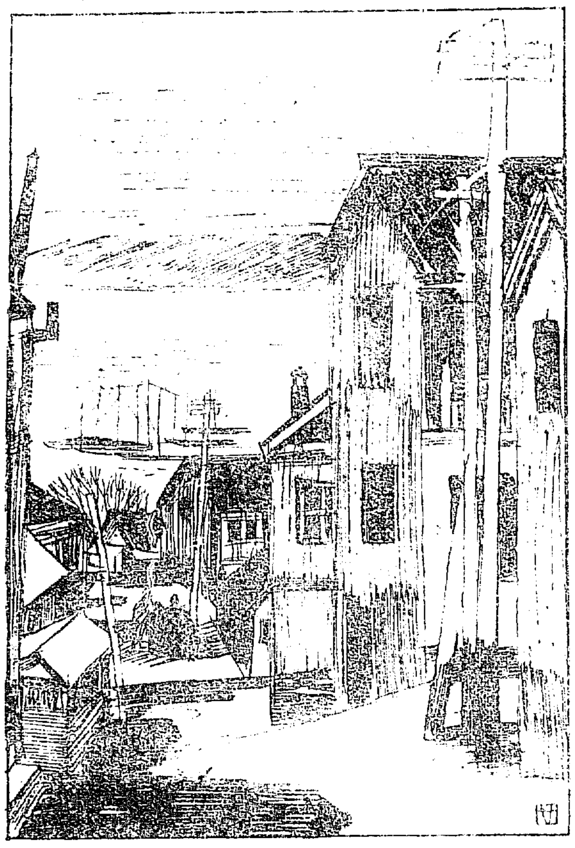
▲會社の事業は其性質上華やかならず、功を舉ぐること甚だ困難なり、而して久しく忍耐する能はずと欲するを常とす。東拓の事業の如きは我國人の氣風に合はず、會社の不評判を招きし所以は玆に在り。

▲さりながら忌憚なく言はしむれば會社の遣方につきても亦た多少の遺憾なき能はず。我等は屢々會社の一般人民、殊に其招來したる移民若くは小作人に對する態度の餘りに尊大にして、且つ繁文縟禮に傾くの弊あるを耳にしたり。會社が世間の同情を失ひし源因の一を玆に看出さずとせんや。

▲會社は又新聞を利用するに於て甚だ拙なるに似たり。移民を招來し、改良農具、改良種子等を普及し、改良農業を敎へ、開墾、殖林等を企て、金融を便利にする等の事業を行ふに、理想的とは言ふ能はざるも、最善の力を盡したるは會社の實情を知る者の認むる所。泰川の灌漑事業の如きは比倭を外國に求むるも遜色なく、會社の大功として大に世に誇るに足るべし。然るに會社は其事業を廣告するに殆ど何等爲す所なく、從て會社が如何なる功を舉げつゝあるかにつき、世間は殆ど知る所なし。

▲思ふに會社の重役諸氏は誠意誠心を以て其職務に當り、世間の毀譽褒貶は介意するに足らずとなさるゝならん。其立派なる覺悟は我等の諒とする所なれど、さりとは餘りに世間知らずと言はるゝを否む能はざらん。今は廣告の世の中なり。最も多く成功を收むる者は、最も廣告に巧なる者なる事を考ふれば、會社が新聞の勢力を輕んじたる事は、確に今日の苦境を招きたる一因と見るべし。

▲大隈内閣の意外の成功を總選舉に收め、幾多の失敗を重ねて今猶ほ餘命を保ちつゝあるは、其新聞政策に巧なりしは其大なる理由なり。若しも東拓が巧に新聞を操縱して、其事業を廣告し世間の同情を繫ぎ得しならんには、補給繼續問題の如きは大なる困難なしに遂に解決したるならん。我等は今回此問題の會社にとりて都合よく解決するを希望し、併せて重役諸氏の新聞操縱に意を用ゐらるべきを勸告す。



仁川　前川千帆筆

榮え行く全南の麗水（上）　△▲生

◎麗水は御承知の如く全羅南道の南端多島海に臨せる半島にて、釜山、木浦兩港の中央に位し、共に百二十海里を隔て居り候、今日にては釜山、麗水間は麗水丸定期と唱へ朝郵の汽船三隻往復致し、木浦麗水間は月二回の定期にて汽船往復致し居り候

◎現住者は内地人二百六十戸一千二百八人、朝鮮人八百戸三千七百人を算し、商業に適する平地及び附近の要部は内地人之れを占め、朝鮮人は多く山腹、坂地に群居致し居り候、何分此地は山麓の小徑を擴め汀を埋めて内地人の發展に伴ひ間に合はせの小市街を作りたることとて山深く地狹まき爲め西の方海岸の干潟地を埋築するの外最早より以上に市街の擴張を望むこと困難の狀況に御座候

◎されど港内は水深く波靜かにして三千噸以上の大船を繫ぐに足り、陸地は麗水より北方順天府に達する十里の國道既に開通して現に自働車を通じ、求禮、谷城、南原郡を經て南原に達する十八里の國道亦竣成致し候のみならず、順天より光州まで十八里の國道に本年秋季を以て竣工する可く尚ほ全州より同地に達する輕便鐵道の敷設も遠からず實現の運に至る可く候へば、全羅南北兩道の沃野に產する農產物の呑吐港として將來如何にしても愈々益々發展せざるを得ざる地に御座候

◎本地方に於ける陸產物は現在棉花を第一とし米之れに亞ぎ、昨年中の移出額は棉花二百五十萬斤、米二萬石と註せられ候、又海產物は其種類の豐饒なる產額の多大なるとは朝鮮沿岸中第一位を占め、海苔、鰮、鯛、海鼠の四種のみを以てして同年中の輸移出額百七十五萬圓を算し申候

◎海產物中特筆す可きは玳瑁貝に御座候、同貝の村は北海道產の貝に勝しく其味殊に美にして大さ之れに倍し支那輸出の主要品に候が灣内三十九哩の海底には殆んど間隙なく密生し甚だしき個所には一坪に就き二百七十個以上、然らざる個所と雖も九十個を下らざる由に候

◎目下當局にては漁業組合及び大洋商會に對し臨城落島地先に於て三十餘町歩の貝採集を許し、三十隻の漁船を以て盛に採取し居り候が一日一隻の漁獲數平均四千五百個と申し候、技師の調査に依れば現在の漁獲は九年を以て採盡す可く七八年にして今後は又其年と同一の收穫を得可く全然繁殖の自由に放任せば地方にては之れが價格の低落して濫獲に陷る憂ありとて保護の方法を講じ決して濫獲に陷らざる樣注意致し居り候

朝鮮短歌會選歌

（十一日例會席上互選）

（上略）

あまりにも腕にせまれけたへかねて來木の暗に君が睫せける。　葉子

十五の時に思ひし事が言きことの樣に何度も思はれてならぬ。　因花

大いなる諦めらん限りなく灰色の雲擴ごり行くも。　青人

たまさかに君に隣れば老ひ給ふ笑顔の淋しかりけり。　鳥石

いひたくて遂に言ひ得ず生の嶺金の擁威にあさなしくある。　せいらん

さまもなく祕密に抱けば生のてふものゝいとはしき哉。　英夫

靜なり君の寢息を我胸も狂ひの夜なればいや靜かなれ。　優梨花

此頃の機の冷たさ心にも物ぐさき近垢の積れば。　同人

茲れひし親さへなくば兵も經にし身なればなど思ふ日。　青磁

君見ずや四肢の色もわかぎみに粉ひく馬はこなひてあり。　同人

病院の青きガラス戶見入る夜は我が薄命を知れる夜なりし。　義長

曇る日は涙ぞ白く光るなり默々として座すにふさはし。　富士東

狂氣の女が朝な祈りたる古木の月に梟の鳴く。　ちどり

やかて又必ず來べき寂しみのたとそのことの遲かれと禱る。　鶴揚

刹那生、刹那滅なる我生命刹那の生命いと尊とかり。　蝶兒

言の葉の眞にうけられずなりし身の共慘しき墮落見て泣け。　同人

京日詩壇

○乙卯除夜　一番瀨樂山

瓶挿早梅花一枝。與花競白鬢邊絲。
欣淸世容斯老。守歲聊憑閑詠詩。
北馬南船年月長。回頭世路極羊腸。
容心却似東流水。餞歲悠悠向故鄉。

評曰　閒淡清適、悠然自得

▲廣告▼

購買入札
一上皿天秤外百八拾四點
右購買スル入札希望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ
大正五年二月十六日
警務總監部

納入期日は來る二十一日午後三時限りとす
三月限 玄米百石に付金三十圓
右掲示したり

京日案內

●普通（一回前金三十錢（無割引）匿名一回每に金五錢增）

▲男女外務員募集 希望者は履歷書携帶來談 商業銀行債券部 京城太平通二丁目 電話二八三一 377

◉看護婦募集 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 仁川 小倉病院 371

◉外交員採用 希望者履歷書携帶午前中來所 黃金町三ノ二四一 日華生命保險株式會社出張所 369

◉雇入 齡十七八歲の店員二名至急入用希望者來談 新龍山三角地 觀樂園角 電話四九番 島田金物商店 366

◉店員入用 齡十四五歲市内に保證人を要す希望者至急來談 ○京城本町二丁目 ▲大阪屋號書店 365

◉讀賣店 目下好況收入多き京城所在料理店歸國に付き至急格安讓渡 御便利可斗候 ▲（姓名在社） 362

◉外交員採用 年齡廿五歲以上希望者履歷書携帶來談 ○京城本町二 ▲大正生命保險株式會社京城支部 344

辨當 自宅持込三食六圓五十錢二食五圓以上▲其外洋食辨當▲便 若草町電話取次二五二四 ▲一の瀨 355

▲古木買受▼ 京城本町電話二五二七 ツツボヤ書店 ▲▲御報知時參上 地方即時送金▼▼ 318

◉乳持入用 身體强健のもの至急入れたし望みの方は本人來談あれ 仁川仲町二丁目 共榮社 380

▲番外（一回前金六十錢（無割引）匿名一回每に金五錢增）

▲看護婦又見習生採用 但年齡十七歲以上高等小學卒業の者にして市内確實なる保證人を要す 京城本町一丁目 石川醫院 378

人蔘キャラメル キャラメルは……藤商會の（割引券附）に限る……本品は至る所の食料品店菓子店に販賣し居れり 291

◉**はねつき**（うちみくじき）等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 **柔術道場** 332

◎小包荷造 並に空箱買入（京城驛前向ひ）**箱製造** 京城本町二の二 電話二八〇一番 **長谷川製箱所** 334

大和町一丁目（日の出橋下る）小兒科 內科 **爲春堂醫院**（電話九一八番）院主 古城俶吉 335

京城春川間**乘合自働車** 京城發午前七時 春川發午後二時 貨物片道四圓 京城水標橋五十番地 電話二三八 ◉春川自働車商會 支配人松田壽男 343

恩給 年金退隱料 長期不問即時御融通可申候 短期は法定利息以内にて無手數立替 京城永樂町一 商品陳列館前 **江州屋本店** 347

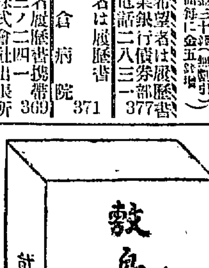
店員入用 年齡十六七歲にて身體强壯市内に確實保證人を要す本人來談あれ 京城本町二丁目 米穀質屋業 ▲**佐野屋** 381

◉**貸家** 獎忠壇赤荻後鶴場上鄰 舊王城址下朝鮮式家屋 絕好庭園廣大官吏會社員向希望者面談 電話付 **景色** ○京城新町電話二一七番 △赤荻 379

喫煙界の福音

代表的紙卷煙草！

內地產優良銘葉三代表煙草



定價金九錢

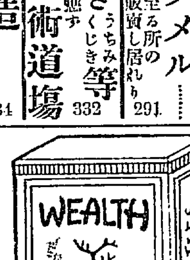
敷島 內地產優良の銘葉を以て精製し氣品高く香味清酒にして上流紳士の御愛喫を忝ふし居る事は事實の證明する通りであります

定價金七錢

武藏野 喫味の典雅なるは大方愛煙家の御承知の通りですが今回大奮發にて定價金七錢に改定致しましたから一層の御愛喫を願ひます

定價金五錢

朝日 喫味と價格の點に於て比類なき代表的卷煙草である事は既に定評ある通りです



定價金二錢五厘

定價金二錢

ウエルスと**ダリヤ** 此二品は世界の煙草界を風靡して居る英米トラスト煙擊退の殊勳を奏したる銘葉であります今後一層御眷顧に酬ゐんとて英斷を以て大値下げを致しました

御注意

昨今弊社製品の賣行益々旺盛を極むるに伴ひ商標意匠等を模造したる不良品の市中に散見するを認めます大方各位の御注意を希ひます

東亞煙草株式會社

後（寄付）止〆　十五日の四月　十圓八十八錢　十圓八十二錢

二月限 千九百五十石　三月限 四萬九千七百五十石　四月限 三萬［…］五十石

第三十七回帝國議會

貴族院(十五日)

貴族院は十五日午前十時開會諸般の報告ありたる後徳川議長會期切迫の折柄議案審査期限を短縮しては如何と諮り異議なく可決日程に入り劈頭

細川請願委員長の報告あり

大正五年度歳入歳出總豫算追加案 河野農相登壇歐洲戰亂の結果鐵の需給伴はず依つて枝光製鐵所擴張に要する經費を追加豫算として提出せるなりと提案理由を述べ高木兼寛男の質問に對し押川長官第三期擴張計畫の內容に就き概說し次で久保田讓男鐵の需給に關する將來の計畫如何枝光及び民間製鐵所の現況如何を質し鹿相並に押川長官交々之に答へ江木千之氏將來の生産額を問ひ農相之に答へ久保田男本案を五年度豫算に要せず追加豫算として提出せる理由を質し武富藏相豫算編成の時には未だ製鐵所擴張の財源調査結了せざりし爲追加豫算として提出せり又製鐵將來の財源及び益金に就きて說明し之にて質問を終り岡部豫算委員長本案の審査期限を定めず結了次第報告すべしと提議し異議なく之に決す

銀行條例中改正案
貯蓄銀行條例中改正案
武富藏相現行法は監督上不便多きを以て之を除かんとするにありと說明し鎌田勝太郎氏普通銀行が貯蓄銀行を兼營する場合に於ての取締役の責任に就き有限無限何れなるやと質問し堀政府委員大審院判決命令迎り貯蓄金に就てのみ聯帶責任を認め將來亦此解釋に依るべしと答へ委員附託

商業會議所法中改正案
河野農相の說明ありて委員附託

北海道銀行法中改正案
武富藏相の說明ありて委員附託以下悉く衆議院送附案なり

齒科醫師法案
高木男の質問ありて委員附託

軍人恩給法中改正案
江木千之氏と兒鍋參政官との間に上下階級に於ける待遇法に就き質問應答ありて委員附託

社寺上地下戾法案
高木男は內務文部農商務各大臣の出席を求め質問し其々答辯ありて委員附託

賣藥法中改正案
質屋取締法中改正案
古物商取締改正案
實用新案法中改正案

以下請願十一件を採擇し零時半散會せり(東京特電)

衆議院(十五日)

▲在野黨の肉薄

衆議院は十五日午後一時開會諸般の報告ありたる後島田議長より登極令違反の質問に關する首相の答辯は本日首相出席して答辯する筈なりしも本日は首相は外相同伴葉山御用邸に參向せり斯る質問に對する答辯は火曜日になす慣例となり居れるも本問題に限り何れの日にても首相の都合好き日になしては如何と諮り滿場異議なし此の時伊東知也君(國民)は乃木問題に就き質問をなし置たるに未だ答辯なきは其の意を得ずと詰り小久保喜七君(政友)は登極令違反の質問は重大問題なるを以て成るべく速かに答辯せられんことを希望すと述べて日程に入る

▲蒙古王の咆哮

佐々木安五郎君(國民)は在外同胞迫害事件に關する質問を試みて曰く在外同胞の迫害頻出に對し當局は如何なる措置に出んとするか今實例二三を擧ぐべしとて印度ボルネオに於て中村某が和蘭官憲に迫害されたる事實及び關島に於ける我國權の失墜は二千萬の朝鮮人に惡影響を與ふるを恐れしとて政府當局の措置を非難攻擊して降壇するや柴參政官簡單に答辯したるも佐々木君は之れに滿足せず和蘭政府に對する今後の措置如何と詰り柴參政官は談判中なれば言明し難し之れを强るは無責任ならずやと遣り返せば佐々木君は威丈け高になりて無責任とは何事ぞと咆哮し議長に其の取消を迫りたるも議長は之れを肯せざりし爲め

佐々木君は議長席に駈け上り議長に喰て掛る時

壇上には第二の質問者成田榮信君(政友)登壇し居たるも發言する能はず與黨は退場を命ずべしと絶叫し議場色めき渡りしも佐々木君は議長より後刻之れが所置をなすべしとの言質を得て議席に復し茲に一段落となり成田君は漸く發言するを得て水産移管及び水産政策に關し政府の無計畫無方針を詰て降壇するや議長は柴參政官の失言の眞意を確むるに柴參政官は佐々木君の言論を無責任と云ひたるに非ざるも其の爲議場を騷がし時間を空費するに忍びざるを以て失言として取消す旨を述べ之れにて失言問題は段落を告ぐ

高田文相は成田君の質問に答へんとして登壇し水産講習所は實地に關するものを置く從つて農商務省所管と爲すを以て移管を中止せりと答へ小橋藻三衞君(國民)は産業及び貿易に關する質問を爲し産業及び貿易に關する缺陷を指摘し政府は之れが調査研究に努力改善の意なきやと質し岩本平藏君(政友)は所得税法施行に關する質問を爲し所得税法中官吏のことに關し施行規則に矛盾の箇所ありとて行政裁判所の判決例を引證し政府は矛盾の條項即ち所得税施行規則第一條二項を削除する意なきや政府の所見如何と質し根本正君(政友)は輕便鐵道建設に關する質問をなし水戸那珂山間輕便鐵道の敷設に就き前年來幾度か言明したるに拘はらず今回之れを水戸鐵道會社に其の敷設を許可せんとす之れ如何なる理由なりやと質問し次で早川龍介君(同志)は請願日程掲載方に就き希望を述べ日程に入る

▲問題の妥協案

外國債整理償還の爲め內國債を發行する事に關する建議案即ち政府と貴族院妥協案にして

▽武富藏相 登壇政府は豫て二億三千八百萬圓の內債募集計畫を樹て兩院の協贊を得たるが其の後經濟界の事情猶多少募債の餘地ありと信じ今又二千萬圓募集し外債償還に振り向んとすと述べ降壇するや

▽鈴木梅四郎君(國民)は劈頭第一に政府が貴族院と妥協の結果本年提出に至りたる經路を述べ政府は變節改論して貴族院に降服したるものなりと雖じ政界の大局に處する方りて政府に一定の政策なきを嘲りたるものと認むと論鋒鋭く肉薄し

▽武富藏相 は時勢の變轉に伴ふ變節改論は已むを得ざる事なれど今回は變節改論に非ず政府は當初の方針を一貫し居れりと述べ內閣貴族院の關係の如きは公の問題に非ざるを以て答辯の限りに非ずと逃げ次に

▽小川平吉君(政友) 登壇一藏相は貴族院との妥協を否認するの勇氣ありや政府は國債整理基金の改正を爲さず單行法を以て本案を提出せるは立法の常道に反する所爲なり且つ藏相は本院に於て此の上二千萬圓の募集は熟慮を要すと言明しながら掌を飜へすが如く二千萬圓募集案を提出せり然して萬一募集不能の場合は如何にせんとするか政府は如何に曲辯するも智識及び貴族院の還元論に降服したるものにあらずや政府は此の如き明白なる事實を隱蔽し政權に戀々せんとする理由何處にありやと喝破し降壇するや

▽武富藏相 登壇政府は本改正を必要と認め提案したるものにして之に關し內閣の一員と貴族院の一部と交涉したるも之れ公の機關に於て云ふべき限りにあらずと拒絶し本案は唯目下の必要に應せんが爲め斷行法を提出したるに過ぎず貴族院の附帶決議に對しては贊否を言明する限りにあらずと答へ次で英貨公債借換並に露國證券二億五千萬圓に決定の履行を詳說するや山本悌二郎君(政友)が白々しき事を云ふなと彌次るや藏相は何が白々しき事かと喰つて掛りあはや一問題持上らんとしたるも山本君巧みに辯解して事濟む藏相は猶ほ諸件を辯じ鼻呼吸荒く悠々降壇するや

▽小川平吉君(政友) 更に余は與國の公債を否せよと云はず他國の公債を先にし內國債を後にしたるは如何と質したるのみ還元論をへし理解し能はざれば御教へ申さんさ皮肉く藏相は之に對し法律案に正貨を利用して外債を償還するを目的とするなりと答へ次で兒玉亮太郎君(政友)は政府は何故に從來の理由を振擲しながら之れを辯明するの勇氣無きや何故に財政上の原則に悖り常軌を履まざりしやと質し藏相は前回以來の說明の如しと受け流し

▽吉植庄一郎君(政友) は貴族院本會議の速記錄を見るに豫算委員長は議員と政府との妥協關係に就き報告し居るに非ずや政府は之れを否認せんとするか元來ならば貴族院の爲に內閣の諮命延びたりと報告するを至當とす然るに妥協とは何事ぞと知らざる眞似をなし厚顏無恥ならずやと攻擊痛烈を極む之れに對し

▽武富藏相 は吉植君の質問は多く議論に流るされば質問の要點を探り答辯すべしと冒頭し貴族院は國債償還額の增加を希望し政府も亦同樣の希望を懷けり既に三千八百六十萬圓の募集を爲す計畫を樹て貴族院の意思一致せしかば茲に本案を提出したる次第なりと辯じ次で

▽相島勘次郎君(國民) 武富藏相は財政上の責任を負ひ既に辭職の決心を爲したるものと思惟すべきに然るに其の失敗の責任を年度內に藏相は外債を償還し攻め政黨之れに應じ得るやと突き込みたるに其の答辯は簡單に辯明し之にて質問を終り

委員附託と爲り藏田又一君(同志)の動議にて十六日引き續き本會議を開會に決し六時散會せり(東京特電)

◎雲南軍總攻擊開始(計畫)

雲南軍の一隊は合江を經て重慶に向ひ他の一隊は綦江を經て重慶に向ひ同時に總攻擊を開始するの目的を以て進擊しつゝあり尙數日前合江附近に於て南北軍の衝突ありたり(北京特電)

◎雲南軍瀘州に敗る

雲南軍は瀘州に於て北軍と接戰せしが戰ひ利あらず竟に重慶に退却せり(重慶電報)

◎羅馬特使入洛

羅馬法王特使ペトレツリー氏は十五日入洛官民の重もなる者出迎へ天主教會に入り御所離宮大典式場等を拜觀せり(大阪特電)

◎共進會の效果
鮮人視察者の感想

昨秋開催せる始政五年記念朝鮮物産共進會が朝鮮今後の開發上に與ふる功果に就きては屢々本紙に記載せし所なるが同會に對して約四千名の視察者を出せる忠淸南道にては視察者の感想及び其視察に依りて著手するに至れる事業又は計畫を一括して此程其筋に報告し來れり、之れ一道の報告に過ぎずと雖も其感想は總て一般視察者の感想にして這般の共進會が如何に鮮人を會得覺醒せしめたるかの一斑を窺ふに足る可きを以て左にそを摘要掲載す可し

▲視察者の感想 視察者は概ね或は仁川港に於ける軍艦の雄姿に喫驚したる等の感想中一般的に屬するもの、是れなり左に觀察者の感想中優良なるもの低級なるものゝ三者を區別し概說せんとす

▲一般的感想 視察者は槪ね五年前に比し世態、人文、技藝及び産業に於て急速なる進歩を現出したることに驚異したり、內地富力の膨大にして人智の開發、殖産興業の盛なるに敬服したり、朝鮮各地方に於ける産業の普及發達しつゝあることを面前に目撃したり、誅求苛斂の惡政なく治平の惠澤に浴するに對し今昔の感を抱き今更に總督政治の實蹟を會得したり

▲優良なる感想 農産物に關する感想自ら生産したる農産物と同種の生産とを比較し將來改良の必要あることを深く感じたるが如き、或は在來の米穀其他穀類に就きて優良なる種子の必要を感得し今後一層改良種の普及を圖るに止まらず施肥の方法を自覺し或は生産物の改良は獨り種子の改良に止まらず耕耘の方法及び施肥の如何に在ることを悟りしが如き…

◎軍司令官更迭(虛報)

朝鮮駐箚軍司令官秋山中將が近く第九師團長に轉補せられ其後任として參謀本部第二部長福田少將が內定したるが如く傳ふるものあるも右は全然事實無根にして一時の風說に過ぎず

◎米の群山(二)
中島生

一、自然の地位

標題を掲げて『米の群山』と謂ふ。蓋し米を中心とした群山を紹介せんとする槪括的記述である。先づ群山なるものは朝鮮に於て如何なる地位に在るかを見るに、府としては京城平壤と同じく朝鮮十二府の一であり、港としては釜山仁川と並んで朝鮮十港の一である。斯く言はゞ其特別の都市であり港であるが、さりながら元來群山は政治上に於ても社會上にも餘り歷史的記錄を有せぬ土地であつて、今を距る十七年前開港の布告によりて市街地の基礎が出來た以前は、錦江下流の微々たる一寒村に過ぎなかつた。此地は昔貢米を集積する米穀の所在地なりし故『群倉』とも稱せられ、內地では『ぐんざん』と濁りて言ふが、朝鮮では『くんさん』と濁を除て居る。地理上の位置は、南鮮西海岸の中央に當り、全羅北道の西北の隅、朝鮮六大江の一たる錦江の海に注がんとする所、南岸に位し、江を隔てゝ忠南の舒川郡に對して居る。東經百二十六度四十二分、北緯三十五度十九分、緯度は越前の福井、武藏の八王子、支那では青島と略相通じて居る。市街は若干丘陵の背後に起伏するものがあれど、一たび境外に出づれば直ちに一大平野となる。即ち朝鮮第一の沃野たる全州平野、萬頃平野、江景平野、益津江等の沖積土より成れる所謂朝鮮の寶庫と稱せらるゝ所の大平野は、彼の車嶺、蘆嶺等の山脈系によりて三方より屛風で圍まれた如く、西南方に向つて延び其の盡くる所が黃海の岸である。天然の地形から云ふ時は其背後に沃野を控へ、前面は河水直ちに海に通じ、水陸の交通は極めて便利、貨物の呑吐港として充分なる資格を具備せるものである。但し港灣としての價値については聊か論ずべきものがあり、後に意見を述べようと思ふ。

■南言北語■

獨逸新案の戰時海賊商船掠奪隊中のバーレンフェルトさツルビンの二船は疑に南米に抑留中であつたが▲餘り久しく繋いで居ては汽關に故障があるから鳥渡其處迄動かして見ると云出した▲豈夫さ思つて宜敷と云ふとヘイ左樣ならとも何とも云はずブーッと出た切濟でマンマと行衞を晦ました▲何の事はない泥棒に宿を貸した樣な者で一杯食はされた處はお氣の毒より寧ろ滑稽▲欺されても笑はれても根氣强くやつて居た米國の對獨交涉は流石の米國も根氣負がしたものと見え遂に獨逸の武裝商船擊沈には抗議申さぬとやつた▲之れぢや矢つ張りいや聯合國でも軍配は獨逸に揚げねばならぬ聯合國ではイヨー御苦勞樣と笑つて居るのだらう▲北京政府は雲南軍を叛徒とか賊徒とか云つて居るが雲南政府に對しては事實上の承認を與へて居る▲何となれば、だ、今度日本から堀領事を雲南に大和久領事代理を四川の成都に新に派遣する事になつた▲無論在留邦人の生命財産保護としてだが北京政府の承認を經たものだ▲而うすれば正式に獨立軍を交戰團體としては承認せぬにしても▲特に代表者を派遣し必要に應じて獨立軍と交涉する事になれば事實上獨立軍は承認せられたものとなる譯である▲猶ほ其上に北京政府が代表者派遣に承認を與へたは北京政府も之れに異議をしたものだと云ふものもある▲成る程其れも一と理屈だが兎に角きだ〈何が何やら分らぬ▲と云ふのは南北の兩主力が一度大衝突をやつて見なければ股肱組の態度が決せぬからね▲重慶も隱居の水鼻の樣に落ちたとか落ちぬとか云つて居たが何うやらポタリと落ちたらしい▲斯んなつて來ると雲貴軍は占めたもので股肱の將が旗下に走せ參じて來る譯だ▲股肱の御大廣西の陸榮廷は頻りに討伐の手當を北京に請求して居るが北京政府も其の股肱には一目置て居る樣な▲逆らねば考があるんでまるで彌請だ妙な氣味の惡い男だが併し今日は捨ても置けまい

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

中學世界增刊 定價廿錢 郵稅二錢
入學案內受驗準備
東京本町 博文館

入學受驗者の唯一好參考
▲本年度官公私立諸學校入學志望者便覽
▲最新入學試驗問題及び試驗日割一覽
▲各校受驗實記
▲中學卒業後の方針を確立せよ
▲受驗準備の參考書
▲英語、數學、國漢文の受驗準備
入學志望者へ注意

金丸の鐵砲でこの通り!!!

新荷着
橫濱市本町
合資會社 金丸銃砲店
(獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備)
(獵銃定價表郵呈)
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一一番

移轉廣告
弊店儀從來明治町一丁目に營業罷在候處今般左記の處へ移轉益々業務の擴張と刷新を計り勉勵可仕候に付倍舊の御用命に賜らんことを偏に奉願上候 敬具
新營業所 京城南大門通二丁目(元德興號跡)
北村皮革直輸入店

有名なる アルボース石鹼 消毒用 化粧用 洗濯用

勿驚最新發明の自働販賣器

●ビール自働販賣器
本器に二錢、五錢或は十錢の貨幣を投入すればビール又ハサイダの如きものは泡沫を發しつゝコップに一杯出づると云ふ最新發明の器械なり

▲氷水自働販賣器 一錢又は二錢銅貨を投入すれば氷水みかん水等が出づる裝置ある器械
▲おみくじ器の一錢銅貨を投入すればうんき、ゑんたん、待人が出ます○賽錢箱形外種々の器械あり
▲パノラマ自働寫眞鏡 一錢銅貨を投入すれば清妙なる自奏音樂入の音樂等の獨奏しつゝ名所や美人や戰爭等の恰も實物に等しき浮出し寫眞が替り見へ向ふ珍品景品に注らが出づる

各種自働販賣器製作販賣所
營業所 大阪西區九條通三丁目四七一地 製作工場
中條商會 電話西二九一七番 振替大阪一四五二四番 大阪市南區日本橋筋四丁目七十三番地
郵券二錢送れば目錄及定價表送呈す

內科 小兒科 入院隨意
中島醫院
院長 中島貞信
京城明治町(元善隣學校隣) 電話三七八番

満州大飛行特電

第四電（十五日午後一時二十五分） 特派員 勝村長平發

▲大吹雪を衝いて遼陽へ!!

本郷師團長への報告筒

耐寒飛行の第二日は前夜來の雪尚ほ歇まずして氣温實に零度以下二十一度を示し寒威頗る猛烈、風速南西六米突を示す遼陽

■偵察飛行

班たる第二十六號機は澤田中尉操縱し偵察將校廣中中尉同乘し第十六號機は操縱將校中澤中尉偵察將校坂本中尉搭乘し、第二十六號機は午前九時三十分、第十六號機は同九時五十五分を以て喝采裡に離陸し練兵場を二周三周せる上渾河鐵橋を目標として南滿鐵道線路の左側に沿ひて南下せり此時地上に於ては飛行班本部と各驛との間に周到なる連絡を執りたれば各驛より刻々に電話を以て飛行機の通過を報告し來るものひきも切らず折から一天海濤りして降雪激しく機體は須臾にして

■白紛々の裡

に姿を失ふ而して第二十六號機は飛行班長眞田大佐より本郷遼陽駐剳師團長に宛てたる書翰を報告筒に容れて携へたりしが吹雪の爲に遂に報告筒を投下するの機會を失ひ五十五分間にして遼陽に著し旋轉して午前十一時二十九分奉天練兵場に歸著せり

▲北進する聯隊を發見

飛行將校は懷爐四個宛の防寒準備

一方第十六號機は張臺子附近に於て南軍の遼陽街道を北進しつゝありしが飛行機を見るや一隊速かに

■地上に伏し

たるを認めたるより五百米突の低空飛行をなし仔細に偵察を行ひたる結果其兵力は機關銃隊を包含せる歩兵約一個聯隊にして四個の部隊に集團しあり前方に約一個中隊の乘馬兵ある事を知るを得て張臺子より直ちに引返し第二十六號機に後るゝ事一分、十一時三十分にして無事著陸せり。此の飛行時間實に二時間、平均氣温零下七度、風速微弱なれども

■雪細かく

して大吹雪の如く飛行將校は懷爐四個宛と懷爐入時計磁石高度計とを携へたるが足及び前額に非常なる寒冷を感じたりと。午後に至りて鐵嶺の訪問飛行を爲す筈にして安奉線及び本線よりの觀覽者續々至り奉天稀有の盛況なりき

▲雪晴れの空に輝く兩機の雄姿

午後雪晴れ氣温零度以下七度、風速西六米突を示す、第二十六號機には伊庭中尉搭乘一時三十三分發第十六號機に川上中尉搭乘一時五十五分發

■鐵嶺訪問

飛行を行ふ第二十六號機は四十五分第十六號機は五十五分にて鐵嶺に著同地にて伊庭中尉及び

十六日より偵察演習

先發の岡大尉の講話あり二機相前後して鐵嶺を發し第十六號機は四時二十五分第二十六號機は四時四十分歸著す虎石臺驛以北は風雪強く二百米突乃至百五十米突の

■低空飛行

をなし各驛を目標として飛行せり寒氣は割合に強からずモ式第二十四號機は發動機試驗を行ひ十六日より三機にて飛行し猶北風強ければニユーポール式單葉をも飛行せしむる筈なり十六日午前より鐵嶺旅團に對する偵察演習を行ひ午後遼陽を訪問し同地著陸の豫定なり（十五日午後五時三十分發）

◉哈爾賓驛の露國太公

六千の學生歡呼

グオルギー露國太公殿下の御召列車哈爾賓に到著するや殿下は停車場に來迎せる儀仗兵、外交團、市會議員等二百餘名に對し御會釋を給ひ

▲市會議員 恭しく捧呈せし麵麭及び鹽（是は高貴の來賓に對する露國古來の儀禮なり）に對し謝禮を述べられたり夫れより殿下はホルワット將軍の先導にて隨員を隨へ祈禱御擧行の爲め聖ニコラエウスク教會に逝かれしが沿道には軍隊及び無慮五千八百の學生其他多數市民の歡迎者諸列齊しくウラーを奉唱すれば

▲殿下は微笑を湛へられ非常の御滿足に見受けられたり祈禱を終りしと見るや敎會前に整列せし軍隊及び中學生徒（露國は二三月前文部省令を以て中學程度以上の學校に軍隊敎育を授く可く發布せり）は徐々に行進を開始し殿下親しく閲兵あらせられウラーの聲裡に御機嫌麗しく自動車に搭乘ホルワット將軍御案内を申上げ重なる製作場及市中を御巡覽あり午後七時東清鐵道倶樂部の

▲晩餐會に望まれたる上御出發あらせられたり、市中は各所に歡迎門を設け晝間は國旗を掲げ夜間は電飾を施して歡迎の意を表せり又支那側に於ける歡迎狀況は殿下御著停車場構内にて支那儀仗兵支那文武官奉迎し殿下には隨員を從へて御下車の上支那兵御閲兵後支那官憲の招宴に臨ませられたり（哈爾賓特信）

◉壜探就縛

容易に自白せず

其筋に於ては十三日壜探ユグニンを橫濱に於て逮捕せしも本人は口を緘して自白せず（東京電報）

◉開城神社認可

京畿道開城郡松都面池町五百十一番地に開城神社を設置認可を其筋に出願中の所二月二日附を以て許可の指令ありたり祭神は天照皇大神にして境内地坪二千二百二十五坪あり而して境内及び附近一帶は山地にして松都面の東北端に位し開城市街を瞰視し西は觀德亭に接し南は國有城壁を境として田圃に際し北は古來よりの弓術の練習場なりと

◉警察署前に雲集

約三十名拘引さる

最近平壤市中に色々の浮說を流す曲者あり十四日も何者か平壤警察署に安州方面より殺人犯を押送し來り昔日の如く該犯人を制縛の上市中隈なく引き廻すべしとの跡方もなき妄說を傳播し午前十時頃より午後一時すぎまで該軍罪囚を見んとする鮮人署前に雲集し來り其の騷擾一方ならざるより警察署にては再三其の退散を說示するも群衆は容易に立去らず益々雜めくに至り内三十名許りを署内に拘引し嚴重其不心得を諭し放還せしかば漸く群集も四散せり（平壤）

□花このごろ（七） ノービル、バージニアル

雪降る野を唯一人行く若き兒の胸の炎と咲ける此花

◉自宅の酒倉に放火して五年

京城太平通二丁目居住の酒造業平賀平助が保險金を詐取せんとの目的にて自宅の酒庫に放火したる事件は此程京城地方法院に於て懲役五年の判決となりたり

◉偽大盡の御用

福島縣相良郡上眞野村生れ米田忠治（三四）は大正二年中文書偽造詐欺取財に依り釜山地方法院にて懲役四箇月大正三年中には詐欺取財にて京城地方法院にて同九箇月の前科處分ある男なるが熊本縣宇土郡宇土町生れの吉野金作（三八）と共に一月二十六日より同二十九日迄京城新町遊廓櫻家に登樓流連して大風呂敷を擴げて大盡風を吹かしたるもいざ勘定となり一文の所持金なく遊興費約四十二圓を蹴倒したる上米田は大金を所持しゐたりしに俄かに紛失したりと言ひ尚八百圓の電報爲替ありたるものゝ如く種なき手品をなして傍人に迷惑を掛けたるものなるが遂に本町署の手に檢擧さる

◉篤志の鮮人

京畿道高陽郡普施面高陽里九統二戶雜貨商韓聖賢（五〇）は毎年々末に於て所在地貧民に對し施米をなし寄篤者として毎年朝鮮總督より賞狀及び木盃を授與せられしものなるが本年も例年の通り一月二十八日自宅に於て貧民二十五名に對し廣木二十四尺綿一斤半（一人價格三圓を）給與したれば一般は非常に感謝し居れりと

◉五十錢の酒

府内公平洞百五十番地朴宮元方の雇人鄭永福（三七）は去る二月七日午過ぎ主人の金九十八圓六十六錢を持ちて使に行く途中鍾路の裁判所前で友達の李春根（三七）に出逢ひ附近の酒家で五十錢分の酒を飲むだ處急に兩人共メートルを揚げ出し果ては北米倉町の方面にまで發展して所持金二十餘圓を費つて了ひたうく警察の厄介となる

◉一同珠數繋ぎ

平壤壽町八四鳶職堀田啓治（三〇）大工赤穗清次郎（三七）港町雜貨商新開庄吉（三二）の三名は十二日午後十一時五十分頃堀田方のオンドロに車座を作り花札を用ゐ一勝負毎に算盤にて勝負の數を計算の上賭博中巡回中の白木巡査及び巡査補一名踏み込み逮捕せしが十三日堀田は二十圓他の兩名は十五圓宛の罰金を即決さる

◉漢江通の賭博

佐賀縣生れ當時龍山元町二丁目居住電機工山口榮作（四〇）は一月中元町二丁目の八塚古物屋の貸手として古物の依託販賣をなし居れる内衣類雜品價格約五十七圓のものを賭博の爲め橫領消費し尚漢江通り西林飲食店にて賭博をなしたるを本町署の手に檢擧せらる

◉小兒の衣服

京畿道高陽郡龍江面往十里草鞋小賣商李德秀（四〇）は窃盜前科二犯の曲者なるが二月十日午後四時頃京城本町五丁目木村某方塀に干しありたる小兒衣類一枚を窃取し黃金町四丁目迄追跡されて被害者に發見され本町署の巡査に取押へらる

妓生になるまで

（一）蘭姫の運命

天下の父母の心

西鮮の首都平壤の清い水と澄んだ空氣とは凝つて美人の蘭姫を産んだ。月は望に近かく花蕾は將に綻んとして蘭姫は今年十八歲の春を迎へた。大同江の流永遠に清洌に、牡丹臺の峰は四時に其の秀麗を誇つて居る平壤は古來色鄕と稱せられ幾多の美人を産し

◇晉州、大邱、海州、白原、全州等と共に妓生産地の筆頭で平壤と晉州の妓生は古來から全妓生の七八分通りを占めて居つた。此の美人鄕に産れて遂に妓生となつた蘭姫の夢のやうな運命を語るに先だつて少しく妓生に就ての歷史を語らしめよ。妓生は我國上代の采女が永司勝司に屬して宮中に奉仕したと略々同じ樣に朝鮮各道の地方官から選拔された女が宮中に入つて藥房尚房に屬して藥房妓は典藥の事に當り尚房は裁縫に從事して居つた此の二房を總稱して俗に官妓と云つて居つた、而し官妓は采女に比し其の品格に於て到底及ぶ處でなく采女が清淨無垢の處女であるに比し官妓は女に尊むべき童貞を維持して居るものはなかつた、且つ宮中の宴に侍して歌謠舞蹈は其の役目であつた、此の點から云へば

◇官妓は羅馬帝政時代に宮室に召された美しい希臘の女奴隷にも比すべきものであらうか。蘭姫が生れた平壤では昔から白樂天の所謂『天下父母の心をして男を生むを重ぜず女を産む事を重んず』と云ふ風があつた、即ち美女を子とした親は忽ちにして富有の長者と爲る事を得るからである。地方に生れた容色美しい女子は大抵其の兩親の貪慾から將來妓生となるべき教育を受けるのである、女が十歳にもなれば總角の儘で妓生書堂に入學（?）する、此れを童妓と稱せられ將來の傾國の美姫は皆一度此處に發はれるのである。妓生書堂は彼等に一通りの普通の智識を習得させた上で歌舞音曲の稽古を爲せ更に其の上詩書を教へ書畫を習はせ妓生となるべき必要の智識を與へるのである、此の書堂に於ける彼等の心持は世間一般の子供と變る處はない、たゞ

◇市井の子供に比べて自分の髮には華が叙されて居ると云ふ樣な事が常に彼等のプライドであるばかりだ。書堂に於て一通りの修業の出來た女は正月又は中元等の郷黨が飮する時季を選んで結髮の式を行ふのである、清淨なる乙女の總角を上げて結髮をする者は何れも丁年以上の男子であつて、且つ其の土地に於て多少の地位名望又は資財を有する者であつて之れは娘の親が選定して依頼するのである。之れを初夫と稱し、結髮の祝として初夫は髮飾、裝身具衣類等を引出物とする。

鏡のまへ―灯ともし頃の化粧

◉ゲール博士の慶事

ゲール博士夫人は十四日男兒を舉げ母子共健在なりと

◉暴風警報（二月十五日午前九時三十分仁川測候所發）

▲警文 風强かるべし ▲低氣壓の位置 □□日附近 ▲同上示度 七六〇粍 ▲進行方向 東北東 ▲警戒區域 北部

◉中村總裁快癒

東京赤十字……床上げ……りたれば來月匆々退院すべく昨今面會謝絶を解きて會社用務の相談に應じ……

……事場に侵入し眞鍮のザバリ其他を竊取して入質したる所を鍾路署の巡査に取押へられたり

……を買ひ與へやるべしと稱し金十圓を騙取して逃走したるを本町署の手に取押へらる

東京期米 十五日前場 四月限

公債直取引

……支那人經營の一を毎月二百七十元の料金を支拂ひて……の好意的態度を見て歸る輕擧妄動な……

營業案内

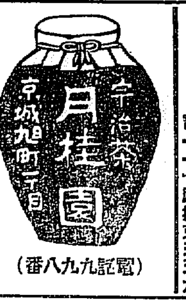
食料品 京城本町三丁目 下川益一 電話二四七 振替九七〇

最新流行小間物 新柄半襟地 造花材料 京城本町二丁目 松菊屋 電話二四六 振替京城三二三

カフエー、タイガー 「の名物」（金卅錢） 新案 ハイカラどんぶり 是非試に召上れ出前も致します 南大門通三丁目電話二五七一番

東京 京城 雛人形 節道具 本町一丁目

弊店製品は專賣特許機械應用 漆器指物 問屋 本店 京城壽町 静岡市 合名會社出張所 電二一七四振京三五九



宇治茶 月桂園 京城旭町一丁目 （電話九八九番）

醫療 理化學 器械輸入製造 度量衡器販賣 （義手足）特許 卸商 京城大和商會 京城黃金町二丁目 電話五八九番

長壽靈品はヨーグルト 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番 滋養と健康の母は 荒井の牛乳

石炭 明治町一 村山商行 （電話一〇五一番）

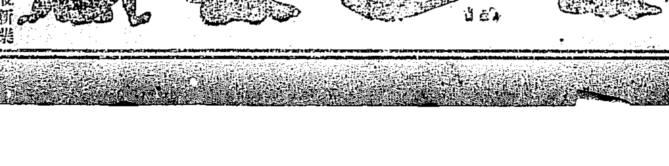
新刊書御案内 書名 著者 定價
鐵筋混凝土の理論及其應用 上卷 日比忠彥 五〇〇
高等寫信 岸本 一八〇
支那論集 市村瓚次郎 一二〇
英文法新話名詞篇 吉田彌次郎 三五
英文法新話代名詞篇 三五
和英社交用文集 小川小久保 八五
初學作詩法 平井雅堂 七〇
學生の友 芳賀矢一 一〇〇
東京自活苦學案内 森泉南 三八
基督教神髓 富永德磨 八〇
禪の一夕話 林大狂居士 九五
日常生活の化學 富永著 五〇
實用新聞雜誌廣告術 間城寺良 五〇
初心獨習將棋速成法 關根金次郎 三〇
日蓮 村上浪六 七〇
ビヂネス日記 佐藤…… 一三〇
從軍三年小敵大敵 渋川玄耳 一三〇
神人の爲めに 岡垣松太郎 一〇〇
春のゆくへ 長田幹彥 三五
碧梧桐句集 大須賀乙字選 六〇
彩雲文集 大町桂月外 七〇
大正五年最近朝鮮事情要覽 六〇
京城本町電話一〇八六番 振替京城二五七三 大阪屋號書店

カーニオラン種 ランゲストロー長框式全部付 蜜蜂分讓 五枚充滿群一價拾五圓 右の外荷造費運賃を要す 五月廿五日頃迄申込順に依り發送す 詳細は照會次第直に回答す返信不要 湖南線羅州局區内泉洞 湖南養蜂場

レンガーミシン會社 大邱支部 分店所在（大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州）

最新高等風藥

キナピリン



●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進歩せる解熱藥なりし大方の歡迎を受けつゝあり
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リョウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓
本舖 大阪堂島 高橋盛大堂本店 發賣 同心齋橋 高橋盛大堂分店

千生瓢 (125)

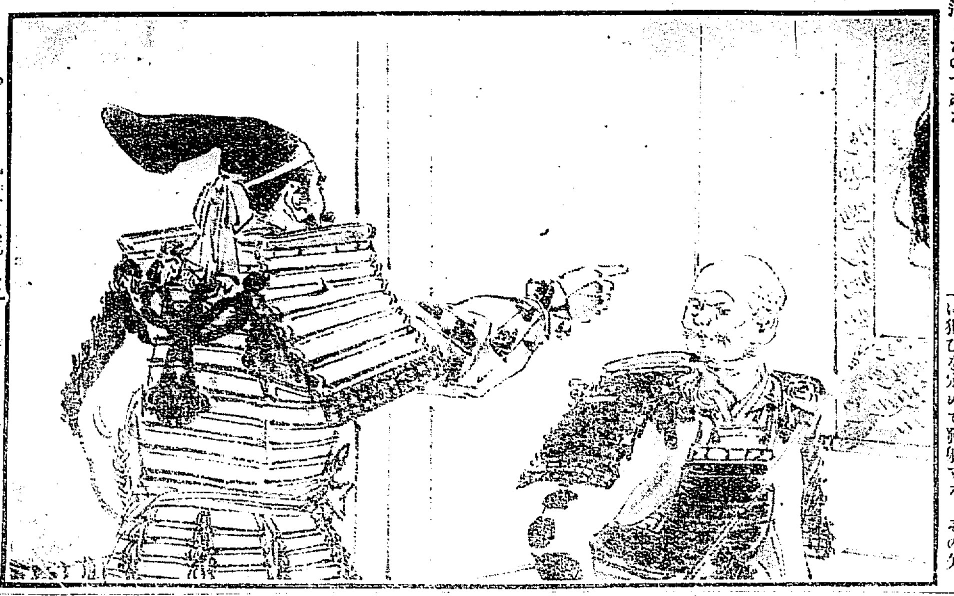
須藤南翠作 筒井年峰畫

杜鵑一聲（五）

越前北之庄の本城は、雪消を待つて修繕を始めたのが、まだ全く竣工に至らなかつた。留守を承はつた勝家の從弟、柴田彌右衛門は、兒島若狹守と協力して、三千餘の守備の人數を督し、頻りに普請を急いだのであつたが、番匠の手を解くに至らずして、勝家の歸城を迎ふる不幸に遭遇したのである。

かくと聞かれた夫人お市殿の愁歎、三人の姫君達の悲歎を想ひやつては、顏見合せて互ひに慰め合ふより外はなかつた。まばらに逃げ歸る先手の敗兵を收めて、こゝに殘りの工事を打切り、中村文荷齋等とゝもに、人數を城外に出して、主將勝家を待ち受けた。

二十一日夜半の頃、長途を馳せ續けて、勝家は恙なく北之庄に歸着した。是に於て敗殘の兵に、三千の守兵を併せて、先づ二三の丸の備に配置したが、總構まで嚴重に守備を配るには、なか〳〵勢の不足が甚だしいので、緩急相應ずる事として、先づ籠城の準備を整へたのであつた。



であるから、敵は翌朝城外數里の民家を燒き立てゝ、漸々に陣を進め午過る頃に至つて、城下まで取り詰めたが、城中にては鳴を靜めて、一箭、敵の矢頃に入り來るのを待つてゐた。是れを見て敵兵は、城中人數の引き足らぬのを侮つて、鯨波を揚げ鼓を鳴らし、勢ひ込んで攻め付けたの。城中では一筋の矢も、一發の彈丸も金の如く貴はねばならぬので、十分に狙ひを定めて發射する。その矢、その彈丸、一發として徒矢はなく、必らず敵を斃す所から、烈しき防ぎ矢はしないけれども必ず命中するを以て、敵も懼れて塀までは進み得なかつた。

この防戰を知らず顏に、勝家は文荷齋を召し寄せて、

『久々の歸城ぢや、床飾りでも改めようと存ずる。其方は案内ぢや、この小書院へは、故右大臣より拜領致いた、牧溪筆の蹈り布袋、虛堂の贊のある、あれを掛けて、蕪なしの花生を取合せ、大書院へは、無準の遺墨、左右龍虎の三幅對、それに姥口の釜を飾らうと思ふ、其方宜きに取計らへ』と申し付けた。

文荷齋は早速領承して、命のまにまに飾り付けをした、勝家は小書院より大書院まで檢分して。

『宜いわ〳〵。こゝに大黑の茶入があるが、是れを其方に遣はさう』と、袋の口を半開いて、手を伸べてさし出した。

『この大黑を賜りまするは存じ寄らぬ拜領物』文荷齋は勿體なく頂戴仕りまする』

文荷齋は膝行寄つて受け取るを見て、勝家は莞爾と笑つた。

『乃で其方に所望がある、何と聞いてくれうか』

『はツ、仰せ何なりとも』

『早速の承知忝けない、餘の儀でもない、勝家が亡からん後ぢや』

『殿百年の後？』

『その茶入にて茶湯を催し、此方に一服飲ましてくれまいか、の』

『風流の御所望』と言ひながら、茶入を取つて三度押戴いた。

『文荷齋、いざ茶の湯仕つりませう』茶入を掴んで其處の柱に打當たので、名物の大黑は微塵に碎けて、唯袋ばかりとなつた。

『如何御覽下されまする』座を退去つて三拜する文荷齋を眺めながら、

『さては其方最期の供をせう所存な、黃泉までも相伴はうぞ』と、快然として打ち笑つた。

『はツ、何事も文荷齋、滯りなく首尾勸めまする、偏へにお供に召し連れ下されう』

『宜いわ、〳〵。參れ』

『何處へ？』

『奥へ參つて一獻酌まう』

『忝なうおざりまする。但し夫人御事、如何思召しまする』

文荷齋は言ひ終つて、きつと面を擡げた。

募集短文

スケツチ帖より（五）

春川 鷗牛洞

〇日本人の女の服裝は四疊半式である、朝鮮人のそれは曠野式である、

〇春の若草にも夏の青葉にも秋の落日にも冬の枯山にもふさわしい

〇寸に餘る麥畑と、熟した豆畑の色彩程スツキりした感じを與へてるものはない

〇自分を喜ばせようとでも思ふのか『書き失敗のものでも好いから呉れ』と云ふ人がある時程腹立たしい時はない、その人は藝術を知らぬ人だから

〇『奥さんカムチヤーサーシよ』『アン、サー！』一分間で解決する、要は出來るだけの簡易生活をしたいものだ

〇煙草の味は仕事に飽きた簿記臺。酒の味は琥珀をみた時。と笑つて友は去つた

讀者の領分

〇巡『何故夜中提灯を付けぬか？』車夫『此通りマッチが濕つてるものですから』との押問答である。僕狹より燐寸を出し火を與ふれば車夫叩頭して行に僕左に在公は悠然として默して居た附役の記臆

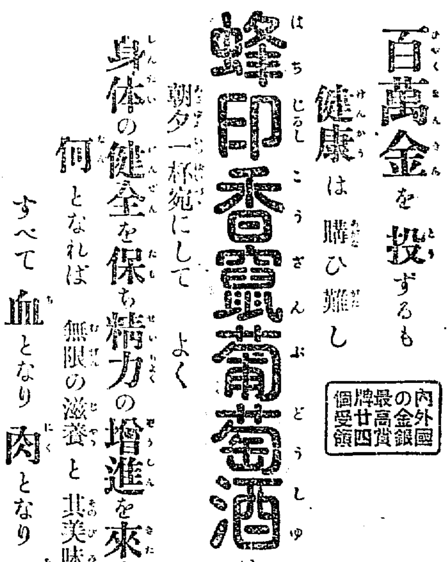
〇ラブレターをやるのは相手にそれだけの力を與て自分はそれだけの弱味を見せるのである。

仁川歌舞伎座前の某家では毎晩近所の迷惑も顧ず夫婦喧嘩をして居る犬でも喰はぬさいふ事を知らないか（迷惑生）

▲永登浦で破廉恥罪をして皆と成つた〇山と言ふ男は當時長谷川町の或下宿屋に居たが未だ改心せぬらしい（熟知生）

▲安東縣行急行列車が開城に著くと車掌が車內百五號に來り池田と云ふ人の有無を尋ると居りますと答たのは頗る的の大美人年は謂はぬが增し名は池田ちのです殊に表れ出たる鮮人風の三人御用だとは謂なんだか僕たときはさすがの美人も目王絵八サテ〳〵油斷のならぬ（旅の車）

〜休職官公の御連は嶽の〇〇だが前ちよいと謂はれ女小僧に置物をさせた物を目改め樽故めをすると一割も二割も不足がある各雜貨店にても安値の呼聲で客を釣込み目方や桝で泥棒する店が十中七八ある是等は嚴重なる處分してやらねば善良な商店や客は迷惑する（調査生）



百萬金を投ずるも健康は購ひ難し

朝夕一杯宛にしてよく身体の健全を保ち精力の増進を來す

無限の滋養と其美味とは何となれば すべて血となり肉となり力となる

蜂印香竄葡萄酒は

內外國の金銀最高賞牌廿四個受領

賣捌元 東京本町 近藤利兵衛

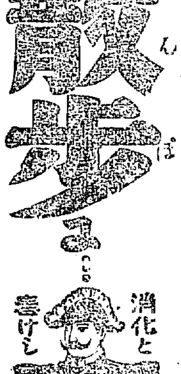
りん病 ばいどく 專門藥

京城南大門外停車場通り ドラッグ 滿鮮總本部

本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會 電話二五六七番 振替京城四六七番

近頃盛に東京及全國偽ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名を盛ぐ並べ各地に定價容器店構（案外見恰も弊社支部の如く裝ひ以て世人を購着し弊社販賣品とは別物にて僅に十錢の原價を投じて二圓の定價を貪り罰せられたる者も有り。

有の外新はしき商號を用ふる者續出せり賢正なる弊社製品には本舗大阪合資會社ドラッグ商會有田製と明記しあり此記名無き物は凡て偽物若くは模造品なり弊社は藥効上の責任を重んずる為他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ●りん病ばいどく普通一週間分普通武圓特製參圓●詳細本月二日の本紙御覽



散歩と仁丹

消化と香けし

召上りましたか

金言 最大なる出來事は多く偶然なり（希臘哲諺）

仁丹一粒、イ、氣持！

宮內省御用 皇后宮職御用 各宮家御用品

東京の女學校で非常な評判の

ほんのりと色白くなる

レートフード

着けると直に色を白く艶を麗はしく荒を防ぎ脂を止め白粉の乘伸をよく化粧を引立て落付をよくす

目立たぬ迄のかくし化粧として家庭の奥様に一番好るゝ レートフード

雪風寒き多の化粧としてレートフード程効果の多い化粧品はない

東京・平尾贊平・大阪

商況

大阪株式特電

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

▲後場の手振り [illegible]

▲取組高增大す [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

日本郵船仁川出帆

〇大連、太沽行

淡路丸 二月十八日 正午出帆

相模丸 三月三日 正午出帆

高砂丸 三月十二日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

〇群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行（外航所屆航路は五分引を以て連絡切符發賣仕候）

溫州丸 二月十八日 / 吉長丸 二月廿一日 / 平壤丸 二月廿五日 午後五時出帆

〇木浦、釜山、長崎行（▲は鹿原種の浦に寄港）

天佑丸 二月廿四日 / 城津丸 二月十七日 午後二時出帆

〇大連行

天佑丸 二月 / 城津丸 二月廿日 正午出帆

〇群山、釜山、横濱行

潮州丸 二月廿八日 / 漳州丸 二月十六日 午後四時出帆

〇大連直行

濟州丸 二月 / チヨイサン丸 二月廿六日 正午出帆

〇清津、浦潮行（元山出帆）

天智丸 二月十六日 / 鳳北丸 二月廿八日 午後二時出帆

〇上海、基隆、打狗行（大連出帆）

湖北丸 二月廿五日 / 新商丸 二月十七日 午前十時出帆

御注意 〇朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 〇御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船被下度候 〇×印は一等客御斷り△印は三等客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・二一〇番・五五〇番

京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間門司若しくは下關より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆

〇群山、木浦、釜山、下ノ關、神戸、大阪行

秀吉丸 二月廿六日 午後四時出帆

大有丸 二月廿七日 午後四時出帆

神代丸 二月廿 日 午後四時出帆

蛟龍丸 二月廿四日 午後四時出帆

君が代丸 月 日 午後四時出帆

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話一一七〇番）

全羅丸 三月 / 京畿丸 二月廿二日 / 黃海丸 二月十六日 / 咸鏡丸 二月廿三日 釜山發

穩城丸 二月廿三日 / 昌平丸 二月廿一日 / 鏡城丸 二月十七日 元山發

永興丸 毎月廿八回 元山發

盈德丸 二月廿一日 釜山發

江陵丸 / 襄陽丸 每日 （釜山浦項）發

三浦丸 二月二十日 釜山發

海州丸 / 統營丸 / 巨濟丸 / 慶寶丸 毎日 釜山發

順天丸 三日目毎 木浦發

慶興丸 二月十七日 木浦發

公州丸 二月廿一日 木浦發

公州丸 二月廿二日 木浦發

全州丸 二月十九日 仁川發

江原丸 二月廿四日 仁川發

麗水丸 / 晉州丸 二月十七日 / 二月廿二日 仁川發

錦江丸 / 南陽丸 毎日午前 仁川發

平安丸 二月十七日 群山 若松發

汽船釜山出帆廣告

〇門司、神戸、大阪行 立神丸 二月 日後五時出帆

〇元山、清津、浦鹽行 立神丸 二月十七日後十時出帆

〇門司、神戸、大阪行 小倉丸 二月 日後五時出帆

〇元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月 日後十時出帆

〇元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三翠平丸 二月十九日後六時出帆

〇門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠平丸 二月 日後六時出帆

〇佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天員丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山埠頭 本邦取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

〇芝罘、大連行 第共同丸 二月十四日後二時入 二月十六日前九時出

〇城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日 後九時出港

〇西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三阪鶴丸 月 日 前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目電話一〇八番

仁川代理店 山下回漕部

元山代理店 田口回漕部

京城取次店 河村運送店